

平成25年度

(平成24年度実績)

教育委員会自己点検・評価  
報告書



塩尻市教育委員会



# 目 次

塩尻市教育委員会における自己点検・評価の概要	1
------------------------	---

## 平成24年度 事業部目標

こども教育部	3
--------	---

生涯学習部	6
-------	---

市民交流センター	9
----------	---

平成24年度 教育委員会の活動状況	11
-------------------	----

平成25年度 事務事業評価(平成24年度実績)	18
-------------------------	----

こども教育部	20
--------	----

生涯学習部	42
-------	----

市民交流センター	66
----------	----

## 塩尻市教育委員会における自己点検・評価の概要

### (1) 制度導入の経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正（平成19年6月）により、すべての教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされました。

これにより、塩尻市教育委員会においては平成21年度（平成20年度事業）から制度の導入を行い、自己点検・評価を行っています。

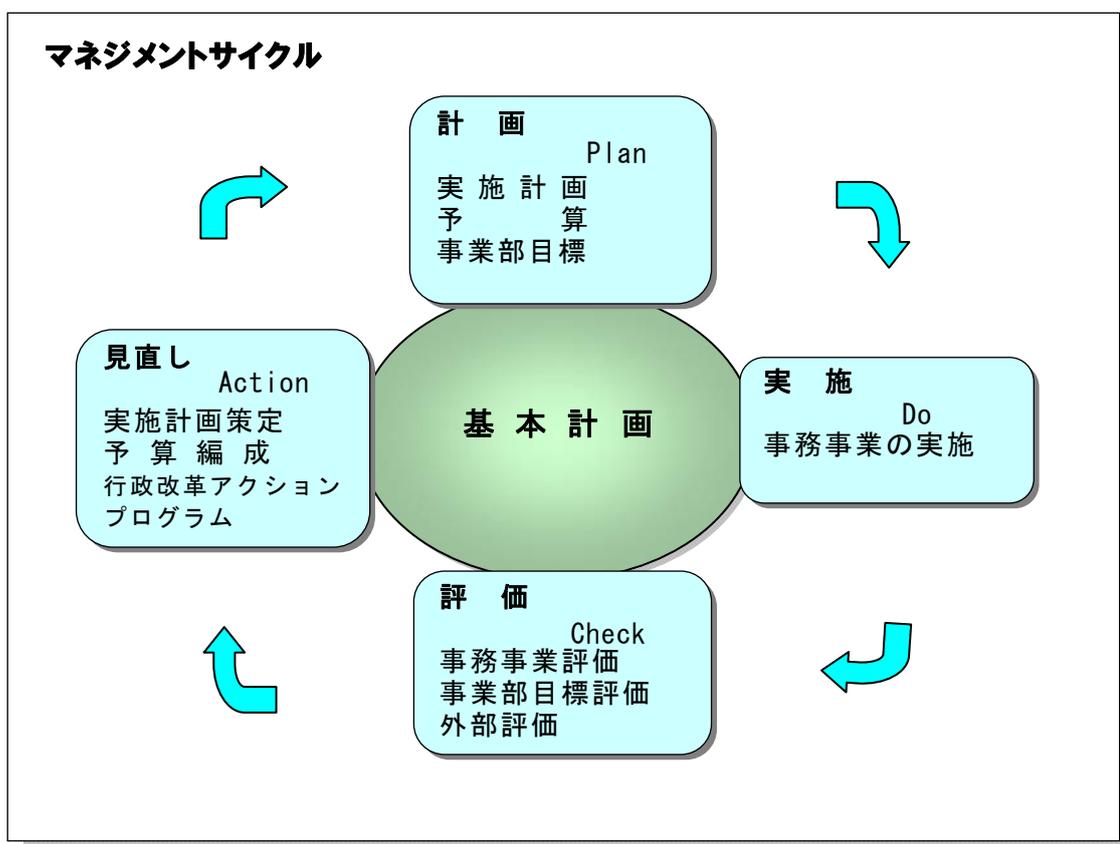
### (2) 制度導入の目的

#### ア 市民により近い存在としての教育委員会

自己点検・評価を広く公表することにより、教育委員会としての説明責任を果たし、市民により近い存在としての教育委員会を目指します。

#### イ 質の高い効率的な事務の実現

事業部目標に基づき事業を実施することはもちろんのこと、評価や検証をしながら改善を行うことにより、事業の効果を高めるマネジメントサイクル **Plan : 計画 → Do : 実施 → Check : 評価 → Action : 見直し** の確立を図り、限られた財源や人員を有効に活用していきます。



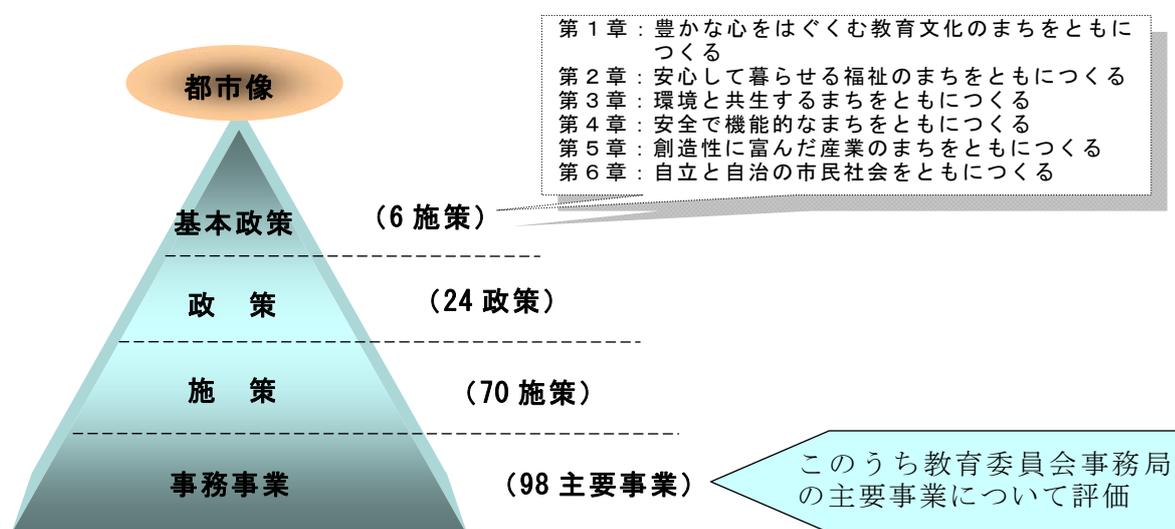
## ウ 効果的な事業の運営

事業の妥当性、効率性及び有効性などの視点から評価を行い、より効果的な事業の運営を図ります。

### (3) 評価対象事業

塩尻市が実施する事務事業評価を基本として活用し、主要事業 98 事業のうち、教育委員会（こども教育部、生涯学習部、市民交流センター）が所管する事業等および教育委員会の運営について自己点検・評価を行います。

#### 【後期基本計画の施策体系】



### (4) 評価のプロセス

塩尻市が実施した事業評価のうち教育委員会関係分を用い、施策を所管する担当課が、目標指標の達成度、事務事業の進捗状況や事業実施の成果等を総合的に判断して内部評価を行いました。これを基に、塩尻市専門委員が評価を特記事項として示し、教育委員会が全体的に確認のうえ評価し、意見を付しました。

以上の手順で評価を行ったため、担当課による内部評価と専門委員および教育委員会の意見は、必ずしも一致しません。

ミッション 1

児童・生徒のために、「生きる力」の育成と知・徳・体のバランスの取れた人間としての成長を目指して、体験学習等の活動を促進し、時代に対応した特色ある学校教育を推進するとともに、総合的な学力の向上と個に応じた指導を進めるため、きめ細かな学習支援体制の充実を図ります。

(教育総務課)

NO	重点事業名	事業概要・目的・効果スケジュール等
1	「生きる力をはぐくむ」体験学習（こども未来塾）推進事業 (実計23-26) (事業費 4,212 千円)	塩嶺体験学習の家を活用した「こども未来塾」を開講し、子どもたちの社会性や豊かな人間性をはぐくむ。・児童生徒リーダー研修、中学生通学合宿、小学校体験学習 体験学習支援プログラム作成及び総合コーディネート業務を委託し、体験学習メニューの開発と利用の促進を図る。
2	中学校30人規模学級拡大事業 (実計23-25) (事業費 3,654 千円)	中学校新学習指導要領の完全実施に対応するとともに、個に応じたきめ細やかな学習指導と集団不適応対策の充実を図るため、中学校30人規模学級を2学年まで拡大する。 ・対象校 塩中、丘中、広陵中
3	学力向上のためのリサーチ事業 (事業費 2,536 千円)	全国学力・学習状況調査を全小中学校で実施し、採点分析を民間委託してデータ等を検証し、授業改善に役立てるなど、学力向上のためのPDCAサイクルの定着化を図る。 ・小学校6年、中学校3年対象に4月17日実施
4	図書館システム導入事業 (実計24-29) (事業費 2,729 千円)	学校図書館図書を管理するシステムを導入し、貸出返却や蔵書管理を効率的に行うとともに、学校間の相互貸借を拡大して図書の共有化を図るなど、児童生徒の調べ学習を推進する。 ・6月～9月 蔵書、利用者登録 10月～システム運用
5	学校給食への木曾漆器塗り箸の導入 (実計24) (事業費 3,500 千円)	木曾漆器塗り箸を全小中学校の給食に導入し、ふるさとへの誇りや愛着心を醸成するなど、優れた地域資源を活用した食育を推進する。 ・@500円×7,000膳

ミッション 2

学校にうまく適応できない児童・生徒のために、自らの可能性を広げるための学習機会の提供と就学の確保を目指し、個々の状況に応じた相談・指導の充実など、学校不適応対策を推進します。

(教育総務課)

NO	重点事業名	事業概要・目的・効果スケジュール等
1	「笑顔で登校」推進事業 (実計23-26) (事業費 2,061 千円)	不登校(傾向)児童・生徒に対し、個々の課題に対応したきめ細かで包括的な支援を行ない、不登校の未然防止など学校不適応対策を強化する。 ・Q-Uアンケートの拡大実施(2回) ・子と親の心の相談員の新規配置 ・不登校児童生徒の宿泊体験学習
2	学校不適応相談指導体制の充実・強化 (事業費 15,701 千円)	不登校対策学校支援コーディネーターを配置し、相談指導体制の充実を図るとともに、教育センターや小中学校中間教室との連携を強化しながら、学校不適応対策を推進する。

ミッション 3

子どもたちや教職員及び保護者のために、安全・安心で不安のない保育や学校活動の確保を目指して、ソフト・ハードの両面から安全な保育・教育環境の整備を推進します。

(教育総務課)

NO	重点事業名	事業概要・目的・効果スケジュール等
1	学校施設非構造部材の耐震化推進 (実計24-26) (事業費 12,500 千円)	災害時において、地域住民の避難場所ともなる学校体育館や校舎の高所天井材、照明器具等非構造部材の耐震化を進めるため、改修に向けて、調査・設計を行う。 ・全小中学校部材調査5月～7月 改修設計8月～
2	学校給食食材の放射線対策 (事業費 3,917 千円)	国の新基準に対応できる、給食食材用の放射線測定器を購入し、独自に測定を行うとともに、専門業者にも定期的に精密検査を依頼するなど、きめ細かな安全確認を行い、安全で安心な学校給食を提供する。 ・ベクレルモニター2台購入 ・民間検査機関へも依頼し、各校で毎月放射線測定が可能な体制を確保
3	広陵中学校大規模改修事業 (実計23-24) (事業費 273,181 千円)	老朽化した施設の大規模改修にあわせ、30人規模学級導入による教室増設、トイレ改修、太陽光発電設備の設置等を行い、学校教育環境の改善を図る。 ・工期 6月末～1月末
4	両小野中学校耐震改修事業 (【両中組合】 実計21-24) (事業費 140,566 千円)	校舎棟の耐震補強工事にあわせ、老朽化した施設の大規模改修やトイレ改修等を行い、生徒の安全安心の確保と、学校教育環境の改善を図る。 ・工期 5月末～10月末
5	学校給食公会計移行事業 (実計24-28) (事業費 2,194 千円)	学校等の事務負担軽減と公金管理の適正化を図るため、学校ごとの給食会計を公会計に移行して運営するためのシステムを構築する。 ・24年度中 児童手当システムとの調整、基本情報の入力、学校・保護者説明等 ・システム運用開始 25年度

#### ミッション 4

社会参加と育児の両立を目指す保護者のために、子どもたちを健やかに育てることのできる家庭や地域の実現を目指して、子育て家庭の様々な負担を軽減し、地域ぐるみで子育てを支援する体制を整えます。

(こども課・教育総務課)

NO	重点事業名	事業概要・目的・効果スケジュール等
1	長時間保育事業 (事業費 38,592 千円)	長時間保育未実施園であった北小野保育園において、朝と夕方の長時間保育を開始し、市内16園全ての公立保育園で朝、夕の長時間保育サービスを提供することにより、保護者の仕事と育児の両立支援体制の充実を図る。
2	病児・病後児保育事業 (事業費 4,900 千円)	市内に居住する生後6か月からおむね小学校3年生までの病期中又は病気回復期のお子さんを保護者の就労、疾病、冠婚葬祭等の理由で保育することが困難になったとき、施設でお子さんを保育する事業で、仕事と育児の両立を支援する体制づくりを進める。 ・桔梗ヶ原病院キッズステーション
3	児童館・児童クラブ運営事業 (事業費 32,330 千円)	保護者の就労等により、日中保護者が不在になる家庭の子どもたちを児童館、児童クラブで預かり、仕事と育児や社会参加と育児の両立を目指す保護者の支援を行う。 ・7館 1分館 2クラブ 1教室
4	片丘児童館整備事業 (実計23-24) (事業費 16,764 千円)	老朽施設の改善を図るため、片丘小学校の空き教室を有効活用し、片丘児童館を整備する。 ・工期 5月～8月 ・遊戯室、図書室、クラブ室等 219㎡
5	民間保育所運営費負担金の交付 (事業費 100,940 千円)	24年度から開園する社会福祉法人立の保育園について、法定の支弁費や特別保育実施に係る負担金を交付し、保育園の運営を支援することにより、公立保育園とともに保育に欠ける家庭の子どもたちの保育を実施し、児童福祉の向上を図る。 ・サン・サン保育園グレイスフル塩尻(大門八番町) ・よしだ保育園(広丘吉田)

## ミッション 5

それぞれに成長発達段階が違う子どもたちとその保護者のために、幼保小中の継続した就学支援を目指して、全ての児童生徒へのきめ細やかな相談支援体制の充実と、特別支援教育を推進します。

また、義務教育9か年を見通したカリキュラムによる指導と地域の特色を活かした一貫性のある教育を推進します。

(家庭支援室)

NO	重点事業名	事業概要・目的・効果スケジュール等
1	元気っ子応援事業 (実計24)  (事業費 3,872 千円)	子どもたちが健やかに成長し持っている力を十分に発揮できるよう、幼保小連携して元気っ子相談を行うとともに、より良い育ちを支援するため、継続的なフォローアップ体制を強化する。また、スムーズに事業を推進するため、しおじり元気っ子ビジョンとパンフレットを作成し広く周知する。
2	まなびサポート事業 (実計22-26)  (事業費 51,382 千円)	特別支援が必要な児童生徒に、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な学習環境を提供するため、特別支援講師及び支援介助員の全小中学校配置に向け、計画的に増員する。 ・特別支援講師 23年度12人⇒24年度13人 ・支援介助員 23年度5人⇒24年度10人
3	小中一貫教育の推進【両中会計】  (事業費 2,039 千円)	義務教育9か年を系統的に捉えた教科指導や交流、学校支援ボランティアによる地域学習の充実を図り、地域の教育力を活用した一貫教育を推進する。 ・教職員研修、一貫教育懇話会、運営委員会視察研修など

## ミッション 6

児童や青少年及び保護者のために、基本的な生活習慣の定着や、子どもの健やかな成長と児童虐待の未然防止を目指して、家庭機能の充実に向けた支援に努めます。

また、地域の重要課題である子育てや教育、青少年健全育成の取り組みに係る大会等を開催し、広く市民への啓発を図ります。

(家庭支援室、こども課、教育総務課、)

NO	重点事業名	事業概要・目的・効果スケジュール等
1	家庭教育の支援  (事業費 2,894 千円)	子どもたちの基本的な生活習慣の定着を目指し「早ね、早おき、朝ごはん、どくしょ」を市民運動として展開する。・5月中旬講演会開催 また、子どもたちを暴力から守るため、子ども、大人、教職員を対象に研修会を開催する。
2	豊かな心を育む市民のつどいの開催  (事業費 484 千円)	子どもの健やかな成長を「幼保小中・子育て家庭・地域・行政」が連携して支援する。また、青少年育成、男女共同参画、人権啓発をテーマとした「豊かな心を育む市民のつどい」を開催する。 ・日時 24年9月15日 ・場所 レザンホール
3	子育てと教育を考える首長の会の開催  (事業費 224 千円)	今年度5回目となる本会を招致し、子育てと教育政策についての情報交換と研究協議を行い、地方から子どもの未来を拓く取り組みを全国に発信する。 ・参加者 自治体等約20団体 ・日時 24年10月4、5日 ・場所 えんぱーくほか

ミッション 1

市民のために、安心して安全な生涯学習の場の提供、市民が自主的な学習活動ができる環境を目指し、学習施設の整備改善、公民館活動の活性化支援をします。

(社会教育課)

NO	重点事業名	事業概要・目的・効果スケジュール等
1	総合文化センター講堂音響等設備の改修 (実計 24~28) (事業費 3,920 千円)	使用に支障が生じている音響設備を改修・プロジェクターを設置することにより、利便性の向上、利用の促進を図る。 ・講堂音響機器改修、プロジェクターの設置 H24年6月
2	公民館運営事業  (事業費 28,314 千円)	市民の学習要望に応え、誰でもが生きがいをもって豊かな生活ができるように、生涯学習や地域交流ができる機会の提供を図る。 ・生涯学習社会の充実のための公民館の設置と運営 ・教養を深めるための学習と地域づくりのための各種学級講座の運営 ・数値目標 開催講座数 230講座

ミッション 2

市民のために、芸術や文化の拠点施設の充実、地域文化、芸術文化の振興を目指し、地域文化の情報発信、芸術文化の学習や発表の場の提供をします。

(社会教育課)

NO	重点事業名	事業概要・目的・効果スケジュール等
1	全国短歌フォーラム第25回記念書籍の出版 (実計 24~26) (事業費 3,734 千円)	短歌フォーラムin塩尻の開催が25回を経過したことを記念し、第25回までの優秀作品等300首に選者の選評を加えた作品集を出版社により出版する。 ・作品集を全国に配本することにより「短歌のまち塩尻」を全国に発信する。 H24年9月
2	レザンホール音響設備の改修 (実計 23~29) (事業費 17,700 千円)	レザンホールの音響設備の改修により、芸術や文化の拠点としての施設の充実を図る。 ・大、中ホールの音響設備の改修 H25年1月~2月 ・非常用蓄電池の交換 H24年7月
3	第26回全国短歌フォーラムin塩尻の開催  (事業費 16,320 千円)	全国の短歌愛好者から短歌を募り、最優秀・優秀賞等の選考、選評を行う「第26回全国短歌フォーラムin塩尻」を開催し、「短歌のまち塩尻」を全国に発信する。 ・一般の部 9月29日開催 学生の部 12月1日開催 ・数値目標 投稿数 3,500首
4	小口益一氏版画作品展示会の開催  (事業費 1,273 千円)	昨年度寄贈を受けた版画家小口益一氏の作品について、総合文化センターや社会教育関連施設等で公開を行い、市の芸術文化振興を図る。 ・市民芸術祭(6月)、市内社会教育施設での巡回展(8月~3月)、地区文化祭での展示(10月)、学校展示(11月以降随時)の実施 ・数値目標 開催数 10回

ミッション 3

市民のために、歴史的遺産を後世に守り伝えるとともに、地域づくりの資産として地域の活性化を目指し、市内の文化財の保護と、重要文化財、重伝建地区等の保存・活用を推進します。

(社会教育課)

NO	重点事業名	事業概要・目的・効果スケジュール等
1	重伝建修理・修景費用の助成 (実計 21~30)  (事業費 23,963 千円)	重要伝統的建造物群保存地区奈良井及び木曾平沢地区の建造物を、文化財整備の手法により修理・修景事業を実施し、歴史的景観整備を行うことにより観光資源も含め地域の資源化を推進する。 ・奈良井 修理2件 修景1件 ・木曾平沢 修理3件 修景1件
2	重伝建木曾平沢地区の防災施設整備の推進 (実計 24~27)  (事業費 6,069 千円)	重要伝統的建造物群保存地区木曾平沢の木造伝統的建築物集積地域の消火施設の整備(消火栓・貯水槽等の整備)を実施することにより、住民の安全を確保するとともに文化資産の保全を図る。 ・実施設計 H24年5月~11月
3	伝統的な建造物の調査の実施  (事業費 1,500 千円)	本市を代表する歴史的建造物である本棟造りを多く持つ平出地区を中心に、市内類例の本棟造り民家学術調査を実施することにより、文化資産としての価値付けが図られるとともに、平出遺跡との相乗効果を上げることを期する。 ・調査 H24年5月~H25年3月 (補助調査及び報告書刊行平成25年度予定)

#### ミッション 4

市民のために、スポーツに親しみ健康体力づくりを推進することができる環境を目指し、市民みな1スポーツの普及・推進と体育施設利用の利便性の向上を図ります。

(スポーツ振興課)

NO	重点事業名	事業概要・目的・効果スケジュール等
1	新体育館の基本的な調査の実施 (実計 19~26)  (事業費 3,000 千円)	新体育館について、市民アンケートの結果を踏まえ、第5次総合計画の作成過程(平成24~26年度)で協議・検討するための資料として、機能や規模等に関する基本的な調査を実施する。 ・機能・規模の検討 ・施設計画 ・管理運営計画 ・交通量調査 H24年5月~H25年2月
2	学校グラウンド夜間照明の整備 (実計 17~26)  (事業費 8,000 千円)	老朽化が進んでいる学校夜間照明を年次的に改修し、ナイターソフトボール等にも対応できるように照度アップを図る。 ・塩尻東小学校校庭 (内野:概ね150~300ルクス 外野:概ね75~150ルクス) H24年12月~H25年3月
3	第4回塩尻ぶどうの郷ロードレースの開催  (事業費 1,712 千円)	市内外から気軽に参加でき、子どもから高齢者までの幅広い年齢層にスポーツの楽しさを知ってもらうとともに健康体力づくりのきっかけとなる環境を提供し、併せてぶどうや漆器など塩尻の魅力を発信する大会運営を目指す。 ・開催日 10月14日(日) ・コース 男女別・年代別4コース ・数値目標 参加者 2,000人

#### ミッション 5

市民のために、一人ひとりの個性と能力を尊重し、お互いの人権を認め合う思いやりにあふれた社会の実現を目指し、市民、地域団体、企業などと協働して、人権意識の向上と男女共同参画の推進を図ります。

(男女共同参画・人権課)

NO	重点事業名	事業概要・目的・効果スケジュール等
1	人権教育の推進  (事業費 2,204 千円)	人権学習会を開催し、人権意識を高める。 ・地区人権教育推進会議、分館人権学習会の開催 H24年5月~H25年3月 ・企業人権教育研修会の開催 H24年6月 ・人権同和教育集会所の運営・維持管理 H24年4月~H25年3月 ・数値目標 学習会等への参加者数 1,920人
2	男女共同参画の啓発  (事業費 638 千円)	市民との協働により講演会及び地区での学習会を開催し、男女共同参画の啓発を行う。 ・男女共同参画推進交流会 H24年6月 ・21世紀セミナー10周年記念講演会 H24年6月 ・井戸端会議 H24年8月 ・地区男女共同参画推進会議 H24年10月 ・数値目標 学習会等への参加者数 650人

## ミッション 6

市民のために、平出遺跡公園・平出博物館とその周辺の歴史的遺産の環境整備と情報発信によりその魅力をさらに高めることを目指して、利活用を促進します。

( 平出博物館 )

NO	重点事業名	事業概要・目的・効果スケジュール等
1	平出遺跡公園の利用促進 (事業費 1,010 千円)	多様な学習の場として平出遺跡公園の利活用を促進する。 ・ひらいで遺跡まつり 9月9日 ・数値目標 来場者数 1500人 ・平出遺跡公園竣工記念事業(記念講演会・企画展) H24年7月～9月
2	平出遺跡公園整備の事業報告書の刊行 (実計 23～28) (事業費 4,700 千円)	平出遺跡公園の整備の記録をまとめ、遺跡の今後の活用に活かす。 ・平出遺跡環境整備報告書(整備編)の刊行 H24年12月
3	埋蔵文化財保護のための調査 (事業費 4,612 千円)	開発事業における埋蔵文化財の保護、記録保存のための調査を行う。 ・開発事業地での記録保存のための事前発掘調査 H24年4月～H25年3月
4	平出博物館の耐震化の推進 (実計 24～24) (事業費 5,100 千円)	平出博物館の耐震診断を実施する。 ・平出博物館耐震診断 H24年5月～8月

ミッション 1

市民のために、市民交流センターを活用した交流と人づくりの場の提供を目指して、市民の自主的で多様な活動を支援するとともに、様々な分野を超えた連携によるサービス、コンテンツを提供します。

(総務課)

NO	重点事業名	事業概要・目的・効果スケジュール等
1	交流センター管理事業 (実計24-26)  (事業費 130,408 千円)	市民交流センターの利便性向上に向け、十分な機能確保のための施設の維持管理を行う。 ・施設管理業務委託(清掃、警備、空調機器保守点検等) ・空調工事等実施 ・事業実施期間:24年4月～25年3月
2	交流企画事業 (実計24-26)  (事業費 48,911 千円)	市民交流センターの基本方針「機能融合を目指した事業運営」を実現するため、また多くの利用者の来館を目指して、諸機能が有機的に連携した幅広い事業展開を行う。 ・読書による人づくり事業・交流支援事業・IT講座等、各種講座及び講演会の開催 ・事業実施期間:24年4月～25年3月 ・数値目標:年間来館者数600,000人

ミッション 2

市民、NPO、各団体等のために、新しい公共の時代に対応する協働のまちづくりを目指して、多様で主体的な市民活動を支援します。

(市民活動支援課)

NO	重点事業名	事業概要・目的・効果スケジュール等
1	協働のまちづくり推進事業 (実計24-26)  (事業費 10,458 千円)	市民活動コーディネーターによる活動支援を行うと共に、公益性の高い市民活動に対し補助金を交付する。 ・市民活動支援業務委託:24年4月～25年3月 ・協働のまちづくり提案事業補助金・市民交流センター提案公募事業補助金 ・数値目標:フリーコミュニティー利用者人数1,500人

ミッション 3

支援の必要な未就園児家庭のために、子育て不安の軽減や、子どもの健全な育ちと地域の子育て力の育成を目指し、つどいの場、研修、講座等による幅広い支援の拡充を図ります。

(子育て支援センター)

NO	重点事業名	事業概要・目的・効果スケジュール等
1	子育て支援センター事業 (実計24-26)  (事業費 60,995 千円)	子育て中の保護者及び未就園児向けの研修や講座等による支援の拡充を図る。 ・研修、講座等の開催(年間200回余) 24年4月～25年3月 ・ファミリーサポート事業、出前支援、子育て情報等による直接的支援を広げる。 ・数値目標:プレイルーム年間利用者数25,000人
2	こども広場事業 (実計24-26)  (事業費 51,706 千円)	利用者向けの交流会の新設及び木育事業の推進により、施設の安定利用を図る。 ・母親交流会(年11回) 24年4月～25年3月 ・木育推進事業 木育フェスティバル24年9月15日～17日 ・数値目標:年間利用者数50,000人

## ミッション 4

市民のために、気軽に利用でき、さまざまな需要に応えられる多機能型の図書館を目指して、読書による人づくりを支援するとともに、生活や仕事等の課題解決に役立つ情報を収集し提供します。

(図書館)

NO	重点事業名	事業概要・目的・効果スケジュール等
1	図書館サービス提供事業 (実計24-26) (事業費 37,000 千円)	図書館資料の充実により、新図書館及び分館におけるサービスの向上を図る。 ・図書、雑誌、視聴覚資料等の購入 24年4月～25年3月 ・数値目標:レファレンス 1,000件/年
2	『これからの図書館像』推進事業 (実計24-26) (事業費 1,477 千円)	『これからの図書館像』の実現に向けて、「本の寺子屋」を事業の柱に据え、課題解決型図書館の実現、生涯読書の推進を図る。 ・本の寺子屋 24年7月29日開校 ・数値目標:講演会、講座等8回開催

## 平成24年度 塩尻市教育委員会会議等記録

### 1. 教育委員の任免

氏名	任期	
小澤 嘉和	委員長	平成23年6月26日～平成27年6月25日
渡辺 庸子	同職務代理者	平成23年6月26日～平成27年6月25日
田中 佳子	委員	平成21年7月 1日～平成25年6月30日
石井 實	委員	平成22年6月22日～平成26年6月21日
御子柴 英文	教育長	平成20年6月27日～平成24年6月26日
山田 富康	教育長	平成24年6月27日～平成28年6月26日

### 2. 定例・臨時教育委員会

期日	会議	案 件	
4月26日	4月定例	報告案件	平成24年度教育委員会事業部目標について 平成23年度中学校卒業生進路状況について〈非公開〉 要保護及び準要保護児童生徒の認定について〈非公開〉
		議事案件	平成24年度塩尻市奨学生の選考について〈非公開〉
5月24日	5月定例	報告案件	中学校における教師の不適切な言動について
		その他案件	教育委員会関係規則等改正(案)について 教育委員会関係例規改正(案)について 平成24年度教育委員会関係補正予算(案)について
6月22日	臨時	議事案件	市立中学校の不祥事に係る職員の処分等について〈非公開〉
6月26日	6月定例	報告案件	市議会6月定例会報告について 中学校における不祥事について
		議事案件	塩尻市職員の勤務時間等の特例に関する規程の一部を改正する訓令 塩尻市行政改革推進本部設置要綱の制定
6月26日	臨時	議事案件	教育委員長の選挙について 小澤嘉和教育委員長(任期 H24.6.26～H25.6.25) 教育委員長職務代理者の指定について 渡辺庸子教育委員長職務代理者(任期 H24.6.26～H25.6.25)
6月27日	臨時	議事案件	教育長の任命について
7月28日	7月定例	報告案件	非違行為防止強化月間の取り組み状況について
		その他案件	塩尻市社会体育実態調査の実施について
8月23日	8月定例	報告案件	平成23年度教育委員会関係決算概要について
		その他案件	教育委員会関係例規改正(案)について 平成24年度教育委員会関係補正予算(案)について
9月27日	9月定例	報告案件	市議会9月定例会報告について
10月25日	10月定例	報告案件	職員の処分等について
		議事案件	平成24年度全国学力・学習状況調査結果の公表について〈非公開〉
11月29日	11月定例	報告案件	長野県教育委員会教育長からの指導について
		議事案件	教育委員会の自己点検・評価について
		その他案件	教育委員会関係例規制定(案)について 平成24年度教育委員会関係補正予算(案)について 実施計画要求事業及び平成25年度教育委員会関係予算要求主要事業について〈非公開〉
12月20日	12月定例	報告案件	市議会12月定例会報告について
		議事案件	塩尻市学校給食費徴収規則 塩尻市給食用物資購入要領
		その他案件	平成25年度教育委員会関係予算(案)重点施策について〈非公開〉
1月24日	1月定例	報告案件	平成25～27年度実施計画について
2月25日	2月定例	その他案件	教育委員会規則等の改正(案)について 教育委員会関係例規改正(案)について 平成24年度教育委員会関係補正予算(案)について 平成25年度教育委員会関係予算(案)について 平成25年度教育委員会関係行事予定(案)について

3月28日	3月定例	報告案件	市議会3月定例会報告について 4月1日付人事異動内示について 校長・教頭の人事異動について 長野県公立高等学校入学者選抜の結果について〈非公開〉 塩尻市社会体育意識実態調査の結果について
		議事案件	塩尻市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 古田晁記念館管理規則の一部を改正する規則 塩尻市職員の勤務時間等の特例に関する規程の一部を改正する訓令 塩尻市小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令 塩尻市教育委員会等の公印規則の一部を改正する規則
		その他案件	平成25年度教育委員会関係行事等予定(案)について

### 3. 協議会

期日	協議事項
4月26日	本年度の教育委員活動について 市長講話・市長懇談
5月24日	教育委員の退任・任命に係るスケジュールについて 明るい選挙推進協議会委員の選任について
6月26日	教育委員会の自己点検・評価について 平成24年度「こんにちは教育委員会」の実施について 平成24年度教育委員視察研修について
7月26日	全国短歌フォーラム投稿状況について 教育委員会事務局所管の委員等名簿について 平成24年度教育委員視察研修について
8月23日	非違行為防止強化月間の取り組み結果について 塩尻市児童・生徒の不登校の状況について 中信教育事務所主幹指導主事学校訪問及びいじめ対応に係る学校訪問について 子育てと教育を考える首長の会in塩尻の開催について
9月27日	教育委員会の自己点検・評価について
10月25日	教育委員会の自己点検・評価について こんにちは教育委員会について 教育委員視察研修について 生徒指導案件について
11月29日	こんにちは教育委員会のまとめについて 教育委員視察研修について
12月20日	塩尻市社会体育意識実態調査の結果(中間報告)について 平成25年度教育委員会会議日程案について
1月24日	教育振興基本計画策定事業について
2月21日	小・中学校の卒業式・入学式について 年度末・年度始めの諸行事について
3月28日	情報公開請求に係る非公開決定に対する審査請求について 年度末・年度始めの諸行事について 入学式について 教育振興審議会委員構成について

### 4. こんにちは教育委員会

11月21日 桔梗小学校 授業参観、グループ懇談  
11月27日 楯川中学校 授業参観、グループ懇談

## 5. 教育委員研修

未実施

## 6. 主幹指導主事学校訪問

9月11日	広陵中学校	10月9日	広丘小学校
9月13日	宗賀小学校	10月9日	塩尻西小学校
9月20日	塩尻中学校	10月11日	木曾檜川小学校
9月24日	塩尻東小学校	10月11日	檜川中学校
9月25日	片丘小学校	10月12日	塩尻西部中学校
	洗馬小学校	10月17日	桔梗小学校
10月1日	吉田小学校	10月23日	丘中学校
10月3日	(両小野中学校)		

## 7. 「広報しおじり」特集等記事掲載

掲載号	ページ数	担当課	記事名
6月1日号	0.5	こども課	ながの子育て優待パスポートをご利用ください（イチオシ！市政ニュース）
6月1日号	1	教育総務課	通学路の安全対策について
6月1日号	1	社会教育課	塩尻市民芸術祭
7月1日号	3	教育総務課	給食食材の放射性物質検査
7月1日号	1	社会教育課	塩尻市民音楽祭
9月1日号	6	図書館	図書館へ行こう
9月1日号	1	社会教育課	奈良井宿の町並みについて（ボイス&トーク）
9月1日号	0.5	総務課	木育フェスティバルインしおじり（イベント案内）
9月15日号	2	社会教育課	開館20周年塩尻短歌館、全国短歌フォーラムin塩尻
10月1日号	16	秘書広報課	元気に育て塩尻っ子
10月1日号	1	こども課	児童館について（ボイス&トーク）
10月15日号	1	社会教育課	塩尻市民文化祭
10月15日号	1	こども課	保育園入園手続きのご案内
11月1日号	0.5	家庭支援室	11月は児童虐待防止推進月間です（イチオシ市政ニュース）
11月15日号	2	男女共同参画・人権課	知ろう・守ろう みんなの人権
11月15日号	0.5	図書館	えんぱーくクリスマス 2012（イベント案内）
1月15日号	2	社会教育課	短歌フォーラムin塩尻「学生の部」入選作品発表 短歌に込めたわたしたちの今
2月1日号	1	社会教育課	三州街道について（ボイス&トーク）
2月15日号	4	教育総務課	確かな学力を育てる
2月15日号	2	市民活動支援課	あなたのまちづくりチャレンジを応援します
3月1日号	2	教育総務課	学校給食の公会計制度がスタート
3月1日号	0.5	総務課	えんぱーくサイエンス教室（イベント案内）
	毎月1日号	総務課	えんぱーくカレンダー
	毎月1日号	レザンホール	レザンホールへ行こう

## 8. 教育委員会関係の主な行事

期日	担当課	行事名
4月7日	総務課	100万人達成記念イベント
4月14日	スポーツ振興課	ウォーキング教室
4月14日 6月23日 8月18日	社会教育課	音楽は楽しいビート道場
4月21日	総務課	交流企画事業 信州大学出前講座
4月22日	市民活動支援課	さくらフェスタ2012
4月27日	総務課	はじめよう！ワールドカフェしおじり
4月28日 ～7月1日	塩尻短歌館	短歌館春の企画展
5月12日	総務課	高校生・大学生のための現代アート講座～アートカフェ～
5月20日	スポーツ振興課	第37回塩尻市小中学生陸上記録会 (第7回中信地区小学生陸上競技大会予選)
5月20日	総務課	サイエンスキッズになろう～実験教室の作り方・理科読講習会～
5月21日	社会教育課	金環日食北限界線観測プロジェクト
5月24日	社会教育課	短歌づくり講座
5月26日	中央公民館	塩尻市公民館研究集会
5月31日	スポーツ振興課	市民健康体力づくり教室（ヘルシーフィジカル）開講式
6月3日	総務課	アラジオプロジェクト～木曾漆器祭・奈良井宿場祭スケッチ大会～
6月6日	平出博物館	金星の太陽面通過観察会
6月8日 ～10日	社会教育課	塩尻市民芸術祭
6月10日	スポーツ振興課	第22回塩尻市スポレクバイアスロン大会
6月14日 16日	社会教育課	朴葉餅作り講座（食文化体験講座）
6月16日 17日	総務課	実践しよう！理科読
6月16日	男女共同参画・人権課	塩尻市男女共同参画推進交流会
6月23日	自然博物館	夏の自然観察会
6月24日	市民活動支援課	～ふるさとへの思いをまちづくりに～映画「ふるさとがえり」上映会
6月29日	総務課	哲学カフェ
6月30日	男女共同参画・人権課	女と男21世紀セミナー 防災と災害復興と男女共同参画
7月1日	塩尻短歌館	短歌大学
7月14日 ～8月26日	塩尻短歌館	短歌館企画展「短歌と書」
7月15日	社会教育課	第8回塩尻市民音楽祭 管弦楽発表
7月21日	スポーツ振興課	ノルディックウォーキング講座
7月26日	図書館	映画上映会「禁じられた遊び」
7月28日	総務課	読み聞かせ事業「聞かせ屋けいたろうのお話し会」
7月28日	総務課	ゆかたを着て玄蕃まつりに出かけよう
7月28日	社会教育課	学びの道小さな旅
7月28日 ～8月5日	社会教育課	小口益一版画展～不思議な時空間の世界～

7月28日 ～8月26日	自然博物館	自然博物館企画展「ふるさとの昆虫」
7月28日 ～9月2日	平出博物館	平出博物館企画展「弥生再葬墓のナゾ」
7月29日	総務課	信州しおじり 本の寺子屋 開校式・記念講演会
7月29日	総務課	川窪裕子アルパコンサート
7月30日 31日	家庭支援室	「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」合宿
8月1日 2日	家庭支援室	特別支援教育研修会
8月3日	総務課	県野菜花き試験場との夏の市民交流イベント
8月4・5日 14日	総務課	ガリレオ工房サイエンスイベント
8月5日	塩尻短歌館	短歌大学
8月18日 19日	社会教育課	第8回塩尻市民音楽祭・バンド発表
8月25日	スポーツ振興課	第32回塩尻市民水泳大会
8月25日	男女共同参画・人権課	女と男21世紀セミナー 広丘地区井戸端会議
9月1日	総務課	木育フェスティバルプレイベント森プロジェクト
9月1日 ～27日	塩尻短歌館	武川忠一先生追悼展
9月2日	スポーツ振興課	第24回ファミリースポレクフェスティバル
9月2日	社会教育課	第8回市民音楽祭 コーラス発表
9月2日	総務課・図書館	いつでもサイエンスコーナー 理科読
9月9日	平出博物館	第9回ひらいで遺跡まつり
9月8日 9日	総務課	えんぱーくアートフェスタ「Shiojiring」
9月15日	こども課	豊かな心を育む市民の集い
9月15日 ～17日	市民交流センター	木育フェスティバル
9月22日 ～11月11日	塩尻短歌館	塩尻短歌館開館20周年記念「短歌の里 歌人秀作展」
9月24日	図書館	信州しおじり 本の寺子屋講演会 「『理想の図書館像』を考える」
9月24日 ～10月14日	社会教育課	小口益一版画展 -昆虫-
9月29日	社会教育課	第26回全国短歌フォーラムin塩尻
9月29日	総務課・図書館・子育て支援センター	読み聞かせ育成講座①・読み聞かせ交流会①
9月30日	社会教育課	第26回全国短歌フォーラムin塩尻 「みてある記」・「短歌大学」
9月30日	市民交流センター	えんぱーくまつり
10月4日 5日	教育総務課	子育てと教育を考える首長の会in塩尻 講演会・研究会
10月6日	総務課・図書館・子育て支援センター	読み聞かせ育成講座②・読み聞かせ交流会②
10月6日	総務課	中学生・高校生職業体験をしてみよう
10月6日	総務課	アラジオワークショップ「カラフル! やさい・くだものをつかってハンカチを染めよう!」
10月8日	総務課	「伊藤有壺氏」講演会及びワークショップ
10月11日	男女共同参画・人権課	大門地区 男女共同参画推進会議

10月14日	スポーツ振興課	第4回塩尻ぶどうの郷ロードレース
10月14日	社会教育課	第7回洋楽舞踊フェスティバル
10月20日	総務課・図書館・子育て支援センター	読み聞かせ交流会③
10月27日	市民交流センター	ハッピーハロウィン
10月28日	図書館	信州しおじり 本の寺子屋講演会「自費出版の本について」
10月30日	図書館	信州しおじり 本の寺子屋 講座「住民に必要と認知される図書館になるために」
11月1日 ～3日	社会教育課	塩尻市民文化祭
11月6日	社会教育課	まなびの道小さな旅
11月10日	図書館	信州しおじり 本の寺子屋 古田晁文学サロン
11月11日	塩尻短歌館	短歌大学
11月22日	社会教育課	温故知新の旅 国指定文化財島崎家・小松家・堀内家
11月23日	総務課・図書館・子育て支援センター	読み聞かせ交流会④
12月1日	社会教育課	第26回全国短歌フォーラムin塩尻 学生の部
12月1日	総務課	比田井和孝氏講演会「私が一番受けたいココロの授業in塩尻」
12月2日	図書館	信州しおじり 本の寺子屋 データベース活用講座
12月8日	総務課・図書館・子育て支援センター	読み聞かせ交流会⑤
12月9日	社会教育課	第6回演劇フェスティバル
12月9日	市民交流センター	えんぱーくクリスマス2012
12月20日	スポーツ振興課	平成24年度ヘルシー・フィジカル教室報告会(閉講式)
1月5日	社会教育課	第47回新春書初め大会
1月13日	社会教育課	成人式
1月13日	塩尻短歌館	短歌の里コンサート①
1月13日	総務課	原坂一郎講座 「親が笑えば子どもも笑う」～親子で楽しく遊ぼう～
1月19日	スポーツ振興課	第53回塩尻市民体育祭冬季大会スケート競技会
1月19日	総務課・図書館・子育て支援センター	読み聞かせ交流会⑥
1月19日	総務課・子育て支援センター	泰羅雅登講演会 「心の脳を育てる読み聞かせ」～脳科学からのアプローチ～
1月21日	男女共同参画・人権課	男女共同参画推進企業セミナー
1月27日	図書館	信州しおじり 本の寺子屋 谷川俊太郎朗読会
1月29日	社会教育課	温故知新の旅 東漸寺信斎館～本洗馬歴史の里資料館
1月30日	家庭支援室	元気っ子応援講演会
2月2日	社会教育課	リズムは楽しいビート道場
2月2日	総務課	磁気ループ体験会
2月3日	塩尻短歌館	第18回短歌の里百人一首大会
2月9日	総務課	長野県野菜花き試験場を知ろう
2月16日	男女共同参画・人権課	やさしく女と男推進講座
2月16日	総務課・図書館・子育て支援センター	読み聞かせ交流会⑦
2月16日	総務課・子育て支援センター	読み聞かせ事業「聞かせ屋けいたろうのお話し会」

2月17日	塩尻短歌館	短歌の里コンサート②
2月19日	スポーツ振興課	ピラティス講座①
2月23日	こども課	春待ち交流会inえんぱーく～広げよう子育ての輪～
2月26日	スポーツ振興課	ピラティス講座②
2月23日 ～3月24日	社会教育課	「小口益一とJOMON」展
2月16日	総務課・図書館・子育て支援センター	読み聞かせ交流会⑧
3月4日	社会教育課	学びの道小さな旅・緊急企画 「ありがとう・さようならミニエコー電車」
3月5日	スポーツ振興課	ピラティス講座③
3月9日	図書館	心の復興を支える図書館～被災地を訪ねて～
3月10日	社会教育課	早春のつどい
3月10日	図書館	“雲とことわざで天気予報にチャレンジ” 「防災に役立つ気象講座」
3月12日	スポーツ振興課	ピラティス講座④
3月14日 ～24日	総務課	高校生デッサン教室
3月17日	スポーツ振興課	スポーツ外傷予防講習会
3月21日	総務課	春休み実験教室「グラスハープで探る音の不思議」
3月23日	総務課	こども絵画教室「紙はながをつくろう」
3月24日	総務課	郷土玩具教室「ずぼんばをつくろう」
3月25日 ～30日	図書館	大きな絵本のおはなし会「森の戦士 ボノロン」

# 平成25年度事務事業評価(平成24年度実績)

## 総括表

### 主要事業数

部等名	主要事業数
こども教育部	10
生涯学習部	11
市民交流センター	6
計	27

### 今後の方針

事業の方向性	主要事業数
A: 計画通りに事業を進めることが適当	18
B: 事業の進め方の改善の検討	9
C: 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討	0
D: 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討	0
計	27

塩尻市教育委員会事務局

## 事務事業評価シートの選択項目

「4. 内部評価」は、次の選択項目により評価しています。

### 公的関与範囲 ※1項目のみ選択

1	法律で実施が義務づけられている事務事業
2	受益の範囲が不特定多数の市民におよび、サービス対価の徴収ができない事務事業
3	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事務事業
4	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために、必要な規制、監視指導、情報提供、相談などを目的とした事務事業
5	個人のみでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは、生活の安全網(セーフティー・ネット)を整備する事務事業
6	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事務事業
7	民間のサービスだけでは市域全体にとって望ましい質、量のサービスの確保ができないため、これを補完・先導する事務事業
8	市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事務事業
9	特定の市民や団体を対象としたサービスであって、サービスの提供を通じて、対象者以外の第三者にも受益が及ぶ事務事業

### 事業の妥当性 ※該当項目をすべて選択

1	事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。
2	社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。
3	利用者、対象者の減少など市民ニーズの低下傾向が見られる。
4	市民ニーズを上回るサービス提供となっている。
5	国や他市町村と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。
6	国や県のサービスと重複している。
7	民間のサービスと競合している。
8	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。

### 事業の有効性 ※該当項目をすべて選択

1	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。
2	施策への貢献度が著しく高いとはいえない。
3	施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。
4	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。

### 効率性のうち実施主体の妥当性 ※該当項目をすべて選択

1	他の実施主体を活用しても市民サービスが低下しない。
2	他の実施主体を活用するとコストの低減が期待できる。
3	他の実施主体が持つノウハウ等を活用できる。
4	他の実施主体を活用しても公平性・公正性、守秘義務が担保され、行政責任が損なわれない。

### 効率性のうち経済性・手法の妥当性 ※該当項目をすべて選択

1	単位当たり(投入金額/事業実績)が前年度比較して悪化している。
2	従事人員の見直しによりコストを下げる余地がある。
3	事務の電子化など事務改善によりコストを下げる余地がある。
4	契約方法の変更などによりコストを下げる余地がある。

# 平成25年度事務事業評価(平成24年度実績)

## 総括表

### 主要事業数

課等名	主要事業数
教育総務課	4
こども課	3
家庭支援室	3
計	10

こども教育部

## 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 □ 最終評価 □ 実計対象

事務事業名	100 教育委員会諸経費				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章 節 項	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
	90 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
	90 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくります				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100101-020000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
教育施策の推進に向け課題を把握し、基本的な方針について審議決定する。  定例・臨時教育委員会・協議会の開催 研修の実施 学校訪問等			開かれた教育委員会活動の推進		
			事業内容		
			教育施策の推進にあたり教育委員の研修活動などを行う		
問題点・課題等			事業効果		
			教育行政の推進と開かれた教育委員会活動		
部名	40 こども教育部		課名	10 教育総務課	

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額		
事業費	内訳	千円	0	200	136	4,202		
		千円			費用弁償	費用弁償	教育委員会委員報酬	
			0	107	42	3,628		
				その他	その他	費用弁償		
			0	93	94	121		
						上部団体負担金		
			0	0	0	203		
						その他		
			0	0	0	250		
			0	0	0	0		
0	0	0	0					
人件費等	千円	0	72	71	215			
正規職員	人千円	0	0.01	72	0.01	71	0.03	215
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費	千円	0	272	207	207	4,417		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	0	272	207	207	4,417	
	合計	千円	0	272	207	207	4,417	

### 3. 前年度中に実施した事業の取組み内容及び成果、課題

取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会の定例会と協議会を毎月開催し、臨時会を必要に応じて開催し、教育行政の諸施策についての基本方針、学校教育・社会教育の重要施策に関して審議し決定しました。</li> <li>・学校教育及び社会教育の現場訪問を十分に行い、諸課題の内容の把握に努めるとともに、研修会などの機会を捉えて先進事例等の情報や知識の収集に努めました。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会会議(定例会・臨時会・協議会)の延べ開催回数 27回</li> <li>・学校訪問 全15校、こんにちは教育委員会 2校、ほか学校行事訪問、文化財修理事業現地視察を実施</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会会議に対する市民の関心は低い状況です。情報発信のあり方に工夫が求められています。</li> <li>・国における教育委員会制度のあり方についての議論の動向を注視する必要があります。</li> </ul>

### 4. 内部評価

	指標	単位	目標値	実績値
施策				
活動	教育委員会会議傍聴者	人	-	15
成果				
今後の方針	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 計画どおりに事業を進めることが適当</li> <li>B 事業の進め方の改善の検討</li> <li>C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</li> <li>D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討</li> </ul>		

	担当課等					専門委員
公的関与	1	2	3	4	5	
	6	7	8	9		
妥当性	1	2	3	4	5	
	6	7	8			
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						

### 5. 教育委員会の評価・意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問によって施設設備面の状況を把握して提案した事項が改修の実施につながってよかった。</li> <li>・「こんにちは教育委員会」については、実施時期について学校の意向を優先し、多忙な時期を避けて実施したほうがよい。教職員の本音を聞いて意見交換ができるので、可能な限り継続していきたい。</li> <li>・協議会については、当面の課題などについてテーマ懇談を実施し、教育委員の情報交換、意見交換を交えた研修の場となっている。</li> <li>・情報発信については、ホームページのほか、新聞社などへの情報提供を積極的に行うことが有効である。</li> </ul>
--

## 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	228 「笑顔で登校」推進事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	02 子どもたちの生きる力をはぐくむ				
項	02 子どもたちの成長と発達を支援し学習機会を提供します				
事業期間	平成23年度～平成26年度	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100102-100000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
<p>【実施計画事業】 小中学校の不登校傾向児童生徒に対し、個々の状況に応じたきめ細かなフォローや未然防止策を、関係機関が連携し合い包括的に推進し、不登校の改善を図る。 ○心理テストQ-Uの実施（中学校1学年、年2回） ○塩嶺体験学習の家を活用した体験学習実施 ○子と親の心の相談員の配置</p>			<p>児童生徒に対し、生きる力をはぐくみ、成長と発達を支援する学習機会を提供する。</p>		
問題点・課題等			事業内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校傾向要因の多様化</li> <li>・包括的な支援体制の確立</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・心理テストQ-Uの実施（中学校1学年、年2回）</li> <li>・塩嶺体験学習の家を活用した体験学習実施</li> <li>・子と親の心の相談員の配置</li> </ul>		
問題点・課題等			事業効果		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校傾向要因の多様化</li> <li>・包括的な支援体制の確立</li> </ul>			<p>平成24年度は、前年度から不登校児童生徒が2人減少し、小中学校合計で21人となり、長野県下で良好な状況にある。</p>		
部名	40 こども教育部		課名	10 教育総務課	

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額		平成23年度決算額		平成24年度決算額		平成25年度予算額		
事業費	内訳	千円	0		339		1,955		2,336		
		千円		0		289		1,333		1,381	
				0		50		572		839	
				0		0		50		116	
				0		0		0		0	
				0		0		0		0	
				0		0		0		0	
				0		0		0		0	
				0		0		0		0	
				0		0		0		0	
	0		0		0		0				
人件費等	千円	0		13,750		13,638		16,150			
正規職員	人千円	0	0	1.25	8,950	1.25	8,838	1.25	8,950		
嘱託職員	人千円	0	0	2	4,800	2	4,800	3	7,200		
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0	0		
総事業費	千円	0		14,089		15,593		18,486			
財源	国庫支出金	千円	0		0		0		0		
	県支出金	千円	0		168		930		0		
	地方債	千円	0		0		0		0		
	その他	千円	0		0		0		0		
	一般財源	千円	0		13,921		14,663		18,486		
	合計	千円	0		14,089		15,593		18,486		

## 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校傾向等の学校不適応児童生徒に対し、県教委派遣の指導主事を中核に、学校、家庭、行政、関係機関等が包括的に、きめ細やかな相談、連絡調整等の支援を行いました。</li> <li>・中学校1年生全員に、Q-Uアンケート(学級満足度調査)を実施したほか、アンケートの分析、活用研修会を教職員に対し行い、学級経営に活かす取り組みを行うなど、中1ギャップ解消に努めました。</li> </ul>
成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校児童生徒の在籍率は長野県下でも低い水準にあり、良好な状況といえます。</li> <li>・指導主事を中核とした支援体制が確立し、児童生徒の不登校対策や学校不適応対策により、良好な学校環境が保たれるとともに、家庭支援へもつながっており、波及効果が見られます。</li> </ul>
課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校要因が多様化するとともに、低年齢化が進んでいます。今後は、元気っ子応援事業との連携をさらに深めるなど、小学校の不登校対策を強化することにより、未然防止を図っていく必要があります。</li> </ul>

## 4. 内部評価

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	—	—	—	—
活動	心理テストQ-Uの実施(中学校1年生)	回	—	2
成果	不登校児童生徒数の在籍比率	%	—	0.38
今後の方針	A	A 計画どおりに事業を進めることが適当 B 事業の進め方の改善の検討 C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
公的関与	1	2	3	4	5	不登校対策としては必要な事業であるため
	6	7	8	9		
妥当性	1	2	3	4	5	
	6	7	8			
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						

## 5. 教育委員会の評価・意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の学校不適応対策への充実した取り組みにより、不登校児童生徒の在籍比率に効果が現れており、引き続き不登校ゼロに向けた取組みを継続されたい。</li> <li>・小学校児童のその他の欠席に対する対応として、家庭環境に応じた支援などの手当てが必要である。</li> </ul>
---

## 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	192 塩嶺体験学習の家運営諸経費				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	02 子どもたちの生きる力をはぐくむ				
項	03 地域とともに子どもたちの健やかな成長をささえます				
事業期間	平成23年度～平成26年度	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100106-010000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
【実施計画事業】様々な体験学習プログラムで構成する「こども未来塾」を年間を通じ展開し、児童生徒の生きる力をはぐくむ。 ○小中学生リーダー研修 ○中学生通学合宿 ○早ね早おき朝ごはん・どくしょ合宿 ○小学校体験学習 等			児童生徒に対し、様々な体験学習プログラムで構成する「こども未来塾」を年間を通じ展開し、児童生徒の生きる力をはぐくむ。		
問題点・課題等			事業内容		
・専門インストラクター配置など人的措置			○小中学生リーダー研修、中学生通学合宿 ○早ね早おき朝ごはん・どくしょ合宿 ○小学校体験学習		
問題点・課題等			事業効果		
・専門インストラクター配置など人的措置			中学生通学合宿を経て、新学級が円滑に運営することができた。また、リーダー研修の成果を各学校行事等に生かすことができた。		
部名	40 こども教育部		課名	10 教育総務課	

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額	
事業費	内訳	千円	0	6,918	7,917	12,139	
		千円	臨時職員賃金	0	1,458	1,401	2,621
			こども未来塾運営委託料	0	1,281	2,258	2,310
			その他	0	4,179	4,258	1,533
			その他	0	0	0	5,675
			その他	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0
その他	0	0	0	0			
人件費等	千円	0	3,580	3,535	3,580		
正規職員	人千円	0	0.5	3,580	0.5	3,580	
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	0	
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	
総事業費	千円	0	10,498	11,452	15,719		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	1,365	1,200	1,654	
	一般財源	千円	0	9,133	10,252	14,065	
	合計	千円	0	10,498	11,452	15,719	

## 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

## 取組内容

・市内の小中学生を対象とした、「こども未来塾」を開催し、多くの児童生徒が、体験学習を通じて生きる力をはぐくみました。

## 成果

- ・宿泊、日帰り利用者数は、2,225人で、前年度比344人の減となりました。(H23 2,569人)
- ・こども未来塾の開催全11回、388人の参加となりました。

## 課題

・平日の利用を促進するため、生涯学習施設としての機能強化が必要と考え、様々な体験学習の指導者の養成やネットワーク化を図り、多彩な体験学習メニューをそろえるなど、利用促進に努めていく考えです。

## 4. 内部評価

指標		単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	—	—	—	—
活動	小中学生リーダー研修の開催	回	—	4
成果	小中学生リーダー研修の参加者数	人	—	130
今後の方針	B	A 計画どおりに事業を進めることが適当 B 事業の進め方の改善の検討 C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
	1	2	3	4	5	
公的関与	6	7	8	9		
妥当性	1	2	3	4	5	
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						塩嶺体験学習の家の位置付けを明確にする。生涯学習施設とするならば、組織の見直しも含め検討する。

## 5. 教育委員会の評価・意見

・「こども未来塾」の小中学生リーダー研修については、内容を充実して継続されたい。リーダーたちの研修成果が学校で実践されることにより、児童生徒全体に波及することを期待する。

## 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	332 中学校30人規模学級拡大事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章 節 項	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
	02 子どもたちの生きる力をはぐくむ				
	01 特色ある学校教育をおこないます				
事業期間	平成23年度～平成27年度	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100301-070000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
【実施計画事業】 平成24年度から完全実施される新学習指導要領に対応し、生徒の個に応じたきめ細かな指導の充実や学力の向上を図るとともに、不登校や生徒指導、学級運営といった課題に対応するため、30人規模学級を中学校2学年に拡大する。			生徒に対し、新学習指導要領に対応した、きめ細かな指導の充実や学力の向上を図るとともに、不登校や生徒指導、学級運営といった課題に対応する。		
			事業内容		
問題点・課題等			事業効果		
教職員の確保、配置			23年度に実施した学校では、比較テストの得点が向上するなど、学力面で成果が出ている。落ち着いた学級運営やきめ細やかな生徒指導にもつながっている。		
部名	40 こども教育部		課名	10 教育総務課	

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額
事業費	内訳	千円	0	841	1,844	601
			0	841	1,539	412
			0	0	305	189
			0	0	0	0
			0	0	0	0
			0	0	0	0
			0	0	0	0
			0	0	0	0
			0	0	0	0
			0	0	0	0
人件費等	千円	0	716	707	716	
正規職員	人千円	0	0.1	0.1	0.1	
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	
臨時職員	人千円	0	0	0	0	
総事業費	千円	0	1,557	2,551	1,317	
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	1,557	2,551	1,317
	合計	千円	0	1,557	2,551	1,317

## 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

## 取組内容

- ・平成23年度に県下に先駆け、国の計画より3年前倒しで、中学校1学年に30人規模学級を導入し、24年度は2学年に拡大しました。全体で2学級増加（塩尻中、丘中）
- ・増加教室は、空き教室を転用し、県の加配教員を充てるなど経費の節減に努めました。

## 成果

- ・落ち着いた学級運営や、きめ細やかな生徒指導により、不登校対策、学校不適応対策にもつながっています。

## 課題

- ・学級数の増加に対応する、教職員の確保や配置が課題です。

## 4. 内部評価

指標		単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	—	—	—	—
活動	教室増加に伴う備品購入	校	—	2
成果	不登校生徒数の減少	人	—	1
今後の方針	A	A 計画どおりに事業を進めることが適当 B 事業の進め方の改善の検討 C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
	1	2	3	4	5	
公的関与	1	2	3	4	5	H24完全実施の新学習指導要領に基づく事業である。
	6	7	8	9		
妥当性	1	2	3	4	5	
	6	7	8			
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		30人規模学級に伴い、ハード面が整備されたので、ソフト面での教員確保が課題である。
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						

## 5. 教育委員会の評価・意見

- ・国に先駆けて30人規模学級が中学3年まで拡大されたので、成果を確認しながら継続されたい。
- ・国の制度改正への働きかけについて、機会を捉えて行っていく必要がある。
- ・特に小学校1・2学年については、30人以下の環境が望ましいため、少人数指導の充実に向けてさらに検討を要する。

## 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	620 児童福祉事務補助金				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	02 安心して暮らせる福祉のまちをともにつくる				
節	02 安心して生み育てられる環境をつくる				
項	02 子育てと仕事の両立を支援します				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-030201-040000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項	児童福祉法第24条				
全体事業概要			事業目的		
社会福祉法人営の認可保育園及び認可外保育所の運営を支援することにより、児童福祉の向上に寄与します。			社会福祉法人立の保育園2園及び認可外保育所の運営を支援します。		
問題点・課題等			事業内容		
「保育園は公立」という既成概念を捨て、「民間保育園の独自の保育方針」等の魅力をPRして、双方の良さを理解してもらう必要があります。			社会福祉法人立の保育園2園及び認可外保育所に対する運営費の負担金及び補助金の交付		
問題点・課題等			事業効果		
「保育園は公立」という既成概念を捨て、「民間保育園の独自の保育方針」等の魅力をPRして、双方の良さを理解してもらう必要があります。			将来的に公立保育園が減ることで保育所運営費の減額につながります。		
部名	40 こども教育部		課名	20 こども課	

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額
事業費	内 訳	千円	0	230,727	88,044	133,777
			0	227,275	84,596	126,978
			0	3,452	3,448	6,799
			0	0	0	0
			0	0	0	0
			0	0	0	0
			0	0	0	0
			0	0	0	0
			0	0	0	0
			0	0	0	0
人件費等	千円	0	4,296	5,656	3,580	
正規職員	人千円	0	0.6	4,296	0.5	
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	
臨時職員	人千円	0	0	0	0	
総事業費	千円	0	235,023	93,700	137,357	
財源	国庫支出金	千円	0	0	26,251	36,112
	県支出金	千円	0	153,243	19,099	31,963
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	15,392	25,387
	一般財源	千円	0	81,780	32,958	43,895
	合計	千円	0	235,023	93,700	137,357

### 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

<b>取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年4月に開設された社会福祉法人立の保育園2園に対し、保育所運営及び延長保育、低年齢児保育に要する費用の補助を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>サン・サン保育園 グレイスフル塩尻 保育所運営費 50,828,660円 延長保育 5,702,375円</li> <li>よしだ保育園 保育所運営費 24,516,450円 延長保育 3,421,351円 低年齢児保育 127,000円</li> </ul> </li> <li>・乳幼児を受け入れている認可外の民間保育所に対し、運営に要する費用の補助を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>キッズワールド(松本市) 2,772,783円</li> <li>自然ランド・バンバン 675,048円</li> </ul> </li> </ul>
<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人立の2園への補助については、保育所の安定した運営及び保育の実施に、認可外保育所への補助については、安定した運営及び保護者の負担軽減に寄与しました。</li> </ul>
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人立の保育園、認可外保育所ともに、独自の保育方針等の魅力をPRし、保護者ニーズをつかみ、安定的な児童の確保による、持続可能な保育所運営に努める必要があります。</li> </ul>

### 4. 内部評価

	指標	単位	目標値	実績値
<b>施策</b> (目標値H26)	—	—	—	—
<b>活動</b>	民間保育園への補助額	円	—	84,595,836
	認可外保育所への補助額	円	—	3,447,831
<b>成果</b>	民間保育園の定員に対する入園者の割合	%	—	53
<b>今後の方針</b>	A	A 計画どおりに事業を進めることが適当		
		B 事業の進め方の改善の検討		
		C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		
		D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
	1	2	3	4	5	
<b>公的関与</b>						児童福祉法第24条第1項に基づく事業である。
	6	7	8	9		
<b>妥当性</b>	1	2	3	4	5	
	6	7	8			
<b>有効性</b>	1	2	3	4		
<b>効率性</b> (実施主体)	1	2	3	4		
<b>効率性</b> (経済性・手法)	1	2	3	4		
<b>特記事項</b>						平成25年度より民間保育所支援事業に変更する。

### 5. 教育委員会の評価・意見

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間保育園の開設があり、市民の選択肢が広がった。安定的な運営に向けた児童数の確保等の取り組みを期待する。</li> </ul>
--	---

## 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	193 保育所運営費				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	02 安心して暮らせる福祉のまちをともに作る				
節	02 安心して生み育てられる環境をつくる				
項	02 子育てと仕事の両立を支援します				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-030202-010000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項	児童福祉法第24条				
全体事業概要			事業目的		
保育事業の実施 保育園数 公立16園 保育日数 293日 給食日数 284日(土曜日48日含む) 児童数 1,691人 特別保育 長時間、一時、休日、低年齢児保育			家庭で保育に欠ける児童の健やかな成長を支援します。		
			事業内容		
			各種保育事業の実施、給食調理業務の民間委託拡大		
問題点・課題等			事業効果		
低年齢児保育の需要が増加し、保育士、保育室が不足している状況にあります。			吉田原保育園の給食調理業務を平成24年度から民間委託し、コスト削減を図ります。		
部名	40 こども教育部		課名	20 こども課	

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額	
事業費	内訳	千円	0	355,620	350,747	369,085	
		千円		0	長時間保育賃金等 63,805	長時間保育賃金等 56,214	長時間保育賃金等 60,935
				0	給食費、保育費等 211,891	給食費、保育費等 206,171	給食費、保育費等 214,325
				0	給食調理業務委託料等 79,924	給食調理業務委託料等 88,362	給食調理業務委託料等 93,825
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
		人件費等	千円	0	1,230,752	1,226,890	1,220,184
正規職員	人千円	0	107.2	767,552	107.4	768,984	
嘱託職員	人千円	0	193	463,200	196	470,400	
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	
総事業費	千円	0	1,586,372	1,577,637	1,589,269		
財源	国庫支出金	千円	0	8,277	18,140	4,143	
	県支出金	千円	0	2,470	1,325	1,153	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	431,720	422,658	406,683	
	一般財源	千円	0	1,143,905	1,135,514	1,177,290	
	合計	千円	0	1,586,372	1,577,637	1,589,269	

### 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

<b>取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童福祉法に基づき、家庭で保育に欠ける乳幼児を健康的で安全な環境の中で保育しました。 入園児童数 16園 1,691人（平成25年3月1日現在の児童数）</li> <li>特別保育事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>未満児保育事業(生後6か月～2歳児) 16園 344人(平成25年3月1日現在の児童数)</li> <li>長時間保育事業(7時30分～・～20時)16園 544人(平成25年3月1日現在の児童数)</li> <li>障害児保育事業(個別配慮児童保育14園 174人、加配保育士対応児童105人、加配保育士61人)</li> <li>一時保育事業(未就園児時間単位保育 7園 延べ 2,799人)</li> <li>休日保育事業(日曜・祝日保育 1園 延べ 79人)</li> </ul> </li> <li>・保育事業の効率化と保育環境の整備等を推進しました。 給食調理業務委託 14園(うち新規 吉田原) 園児送迎バス運行委託 3園(宗賀中央、北小野、榑川)</li> </ul>
<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性をもった子どもの育成に努めるとともに、多様な保護者ニーズに応えながら、子育てと仕事の両立を支援できました。</li> <li>・給食調理・送迎バス委託とも安全で安定したサービスを提供することができました。</li> </ul>
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低年齢児保育の需要が増加し、保育士、保育室が不足している状況にあります。</li> <li>・障害児、個別配慮児童が増加し、加配保育士が不足している状況にあります。</li> </ul>

### 4. 内部評価

		指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)		保育事業における両立支援体制の充実度	%	75	41
		一般事業主行動計画策定率(従業員101人以上)	%	100	94
活動		全園での長時間保育事業の実施	園	-	16
成果		待機児童数	人	-	0
今後の方針	A	A 計画どおりに事業を進めることが適当 B 事業の進め方の改善の検討 C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討			

	担当課等					専門委員
	1	2	3	4	5	
公的関与	6	7	8	9		児童福祉法第24条第1項に基づく事業である。
妥当性	1	2	3	4	5	
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		吉田原保育園の給食調理業務の民間委託をすることにより、コスト削減を図った。
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		"
特記事項						給食調理業務については、安全性に考慮するとともに、引き続き民間委託できるかどうか検討する。特別保育事業については、特に低年齢児保育する児童に対する保育士が不足傾向にある。

### 5. 教育委員会の評価・意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・嘱託保育士の比率が高くなっており、効果的な人員配置に向けて研究が求められる。資質向上に向けた研修や管理職のマネジメント力向上などについても配慮されたい。</li> </ul>
---

## 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	148 児童館・児童クラブ運営諸経費				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	02 安心して暮らせる福祉のまちをともに作る				
節	02 安心して生み育てられる環境をつくる				
項	02 子育てと仕事の両立を支援します				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	未設定	予算科目	1-030205-030000		
事業区分	ハード	主管課順位	0	部順位	0
地区	未設定				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
子どもに健全な遊びを提供して、その心身の健康を増進し情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての児童館と、保護者が就労等により昼間家庭にいない、主に小学校1年生から3年生に就学している児童に適切な遊びや生活の場を提供し、集団生活を通して健全な育成を図るため、児童館で預かる放課後児童クラブの運営経費。			子どもの遊びや生活の場の提供と、地域における子育て支援を行い、子どもを心身ともに健やかに育成します。		
			事業内容		
			児童館は、18歳未満の児童が利用できる児童厚生施設。放課後児童クラブは、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を預かる学童保育事業。		
問題点・課題等			事業効果		
・小学生の対象者全てを受け入れるという法改正に対応する体制づくり			児童館・放課後児童クラブを充実させることで、保護者の子育てと仕事の両立に対する支援につながります。		
部名	40 こども教育部		課名	20 こども課	

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額		
事業費	内 訳	千円	0	28,744	29,207	30,948		
		千円	賃金	0	8,092	8,358	10,847	
			需用費	0	5,254	5,249	5,750	
			役務費	0	905	855	1,141	
			委託料	0	14,176	14,430	12,935	
			その他	0	317	315	275	
				0	0	0	0	
				0	0	0	0	
				0	0	0	0	
				0	0	0	0	
	0	0	0	0				
人件費等	千円	0	85,444	87,313	87,844			
正規職員	人千円	0	5.9	42,244	5.9	41,713	5.9	42,244
嘱託職員	人千円	0	18	43,200	19	45,600	19	45,600
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円	0	114,188	116,520	118,792			
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	23,235	22,258	18,140		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	231	258	84		
	一般財源	千円	0	90,722	94,004	100,568		
	合計	千円	0	114,188	116,520	118,792		

3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

<b>取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館・児童クラブの運営をしました。 児童館としては、子どもに健全な遊びを提供するため、あそびの広場、つどいの広場などの子育て支援事業や児童館独自の児童厚生事業を実施しました。放課後児童クラブとしては、就労等により昼間家庭に保護者がいない児童に対し、適切な遊びや生活の場を提供しました。そのほか、子育て相談も随時行うことで、地域の子育て支援をすすめることができました。</li> <li>・児童館の延べ利用人数は、次のとおりでした。(うち、児童クラブの延べ利用人数、登録人数) 平成24年度・・・76,698人(65,484人、659人) 平成23年度・・・71,220人(65,768人、588人)</li> </ul>
<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館・児童クラブの運営を通じて、子どもの生活の健全な居場所づくりと、保護者の子育てと仕事の両立を支援することができました。</li> </ul>
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館・児童クラブの利用形態に対する利用者からの要望があること、児童館の中に児童クラブを開設しているという運営形態のわかりにくさがあることをふまえ、より利用しやすい児童館となるよう、次の点について検討していく必要があります。              (1)児童クラブの4年生以上の受け入れ      (2)児童館事業の充実とPR              (3)時間延長      (4)児童クラブの有料化</li> <li>・特に(1)について、平成25年度夏休みの受け入れを実施し、その状況をみながら今後の受け入れ態勢を検討していきます。</li> </ul>

4. 内部評価

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	—	—	—	—
活動	児童館の延べ利用人数	人	—	11,214
成果	あそびの広場の延べ参加者数	人	—	3,809
今後の方針	B	A 計画どおりに事業を進めることが適当 B 事業の進め方の改善の検討 C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
公的関与	1	2	3	4	5	児童福祉法第40条・第21条の8・第21条の9に基づく事業である。
	6	7	8	9		
妥当性	1	2	3	4	5	
	6	7	8			
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						児童クラブの有料化は検討すべきである。

5. 教育委員会の評価・意見

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の制度改正に合わせて利用者のニーズを把握し、サービスの有料化と充実に向けた検討をされたい。</li> <li>・児童館での地域の人材活用についても探っていくことが必要である。</li> </ul>
--	---

## 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	101 家庭教育支援事業諸経費				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	02 安心して暮らせる福祉のまちをともにつくる				
節	02 安心して生み育てられる環境をつくる				
項	03 悩みを抱える家庭を支援します				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-030204-020000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項	児童福祉法・児童虐待の防止等に関する法律				
全体事業概要			事業目的		
多様化する家庭が抱える様々な課題を解決するために、子どもの基本的な生活習慣づくりや子どもと大人・教職員に対する人権学習機会の提供、関係機関と連携した虐待の対応、虐待の予防対策の充実に図ります。			悩みを抱える家庭のために相談・支援を行い孤立化させず、子どもたちの人権が尊重され、豊かな人間性が育まれる地域社会を目指します。		
			事業内容 ・「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」市民運動 ・要保護児童対策地域協議会の運営・虐待の対応 ・人権学習CAPワークショップの開催		
問題点・課題等			事業効果		
・虐待相談等は、毎年複雑化、深刻化しています。 ・新規相談と既存相談（終結を除く）の合計対応件数は毎年増加しています。			・子どもを虐待から守ります。 ・子どもの権利に対する意識が育まれます。 ・課題を持つ家庭へ継続支援して孤立化させません。		
部名	40 こども教育部		課名	30 家庭支援室	

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額	
事業費	内訳	千円	0	2,414	2,111	3,727	
		千円	賃金	0	125	51	337
			報償費	0	241	226	61
			需用費	0	624	563	862
			委託料	0	1,171	1,038	1,510
			使用料及び賃借料	0	202	202	835
			その他	0	51	31	122
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
人件費等	千円	0	14,320	14,140	14,320		
正規職員	人千円	0	2	2	2		
嘱託職員	人千円	0	0	0	0		
臨時職員	人千円	0	0	0	0		
総事業費	千円	0	16,734	16,251	18,047		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	185	0	8	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	16,549	16,251	18,039	
	合計	千円	0	16,734	16,251	18,047	

### 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

<b>取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」市民啓発事業として「おはなしファミリー劇場」を開催しました。(参加者:307人)</li> <li>・要保護児童対策地域協議会1回・定例実務者会議4回開催し、情報交換と具体的な事例を検討しました。</li> <li>・家庭児童相談全般に関して、継続相談を含め634件の相談を受け対応しました。新規の虐待件数は30件。</li> <li>・人権学習会CAPワークショップを3小学校で開催しました。(参加者:児童678人、教職員72人、保護者122人)</li> <li>・児童虐待防止啓発チラシの街頭配布活動を実施しました。(塩尻駅前・広丘駅前700人)</li> </ul>
<b>成果・費用対効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携により、要保護児童の早期発見及び適切な保護と児童及び家庭への適切な支援が図られました。多様な市民を対象に、それぞれに必要な相談、啓発、学習事業を効果的に展開できました。</li> </ul>
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待等の相談が、複雑化、深刻化し、新規相談と既存相談の合計対応件数は毎年増加しています。相談体制の整備が課題になります。</li> </ul>

### 4. 内部評価

指標		単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	児童虐待防止啓発事業への年間参加者数	人	1,000	700
活動	子どもの人権学習会への年間参加者数	人	—	872
成果	虐待による子どもの死亡者数	人	—	0
今後の方針	A	A 計画どおりに事業を進めることが適当		
		B 事業の進め方の改善の検討		
		C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		
		D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
	1	2	3	4	5	
公的関与	1	2	3	4	5	児童虐待の防止に関する法律第4条(国及び地方公共団体の責務等)に基づく事業である。
妥当性	6	7	8	9		
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						

### 5. 教育委員会の評価・意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談内容の多様化・深刻化が見られ、件数もさらに増加することが予想される。必要な体制整備に努めるとともに、民生児童委員との連携強化についても取り組む必要がある。</li> </ul>
--

## 平成25年度 事業評価シート（平成24年度実績）

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	343 元気っ子応援事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	02 子どもたちの生きる力をはぐくむ				
項	02 子どもたちの成長と発達を支援し学習機会を提供します				
事業期間	平成18年度～	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-030206-010000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
子どもたちが、それぞれの個性や特性を大切にしながら健やかに成長し、持っている力を十分発揮できるように、一人ひとりに応じた育ちを途切れなく18歳まで応援します。			子どもたちのために、それぞれの成長段階に応じた必要な途切れのない支援をし、社会に適應できる「生きる力」を育みます。		
問題点・課題等			事業内容		
平成26年度には、元気っ子相談を受けた子どもが中学校に進学します。小学校から中学校への継続的なフォローアップ体制の整備と方法が課題です。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気っ子相談・継続相談・心理検査・個別支援保育</li> <li>・保育園、幼稚園、小学校へのフォローアップ訪問</li> <li>・医療相談、ことばの相談、子育て応援教室の実施</li> </ul>		
問題点・課題等			事業効果		
平成26年度には、元気っ子相談を受けた子どもが中学校に進学します。小学校から中学校への継続的なフォローアップ体制の整備と方法が課題です。			保育園のフォローアップ訪問に先生が、小学校のフォローアップ訪問に保育士がそれぞれ参加し、連携と継続的支援の強化が図られました。		
部名	40 こども教育部	課名	30 家庭支援室		

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額
事業費		千円	0	2,940	2,720	3,617
内 訳	千円		0	報酬	報酬	報酬
		0	14	10	27	
			0	賃金	賃金	賃金
		0	555	433	668	
			0	報償費	報償費	報償費
		0	1,207	993	2,319	
			0	旅費	旅費	旅費
		0	120	59	287	
			0	需用費	需用費	需用費
0	79	247	229			
	0	委託料	委託料			
0	903	929	0			
	0	使用料及び賃借料	使用料及び賃借料	使用料及び賃借料		
0	48	49	87			
	0	備品購入費				
0	14	0	0			
人件費等	千円	0	7,644	7,563	7,644	
正規職員	人千円	0	0.9	6,444	0.9	6,444
嘱託職員	人千円	0	0.5	1,200	0.5	1,200
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0
総事業費	千円	0	10,584	10,283	11,261	
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	10,584	10,283	11,261
	合計	千円	0	10,584	10,283	11,261

## 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

## 取組内容

- ・元気っ子相談(569人)・保育園フォローアップ訪問(16園)・小学校フォローアップ訪問(1、2、3学期)を実施しました。
- ・元気っ子応援事業パンフレットの配布しました。(約700人)
- ・医療相談(16人)・ことばの相談(41人)・心理検査(43人)を実施しました。
- ・子育て応援教室(申込者21人)を4回開催するとともに、元気っ子講演会(58人)を開催しました。
- ・個別支援保育(16保育園)を実施しました。

## 成果・費用対効果

- ・保育園のフォローアップに先生が、小学校のフォローアップに保育士が参加し、連携と継続的支援の強化が図られました。ゼロ予算でできる連携・ネットワークの強化により、継続的支援の効果を上げました。

## 課題

- ・H26年度には、元気っ子相談を受けた子どもが中学校に進学します。小学校から中学校への継続的なフォローアップ体制の整備と方法が課題です。

## 4. 内部評価

指標		単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	元気っ子応援事業個別支援保育の実施園数	園	16	16
活動	元気っ子応援事業個別支援保育の実施園数	園	—	16
成果	フォローアップにおける保育園と小学校の連携	園・校	—	16園・9校
今後の方針	A	A 計画どおりに事業を進めることが適当		
		B 事業の進め方の改善の検討		
		C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		
		D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
	1	2	3	4	5	
公的関与	1	2	3	4	5	次世代育成支援対策推進法に基づく事業
	6	7	8	9		
妥当性	1	2	3	4	5	
	6	7	8			
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項	偏った応援ではなく、一人ひとりきめ細やかな応援を実施した。				子どもの個性や特性を大切にし、子どもの育ちを応援していく市独自の事業である。	

## 5. 教育委員会の評価・意見

- ・元気っ子応援事業が来年度いよいよ中学校につながるの、小中学校の連携強化が望まれる。さらに、高等学校以上への継続的支援策についても他機関との連携強化を視野に入れて研究をする必要がある。

## 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	168 まなびサポート事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	02 子どもたちの生きる力をはぐくむ				
項	02 子どもたちの成長と発達を支援し学習機会を提供します				
事業期間	平成18年度～	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100102-090000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項	学校教育法等の一部を改正する法律・特別支援教育の推進について（H19.4.1文部科学省通知）等				
全体事業概要			事業目的		
特別な支援が必要な児童生徒に対し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な学習環境を提供するため、市内全小中学校に計画的に特別支援講師及び支援介助員を配置します。			特別な支援が必要な児童生徒のために、教育相談を行うとともに特別支援講師及び支援介助員を配置することにより、その持てる能力を高めます。		
			事業内容		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学・教育相談の実施</li> <li>・特別支援講師の配置・支援介助員の配置</li> <li>・特別支援教育に関する研修会の実施</li> </ul>		
問題点・課題等			事業効果		
一人ひとりの教育的ニーズが多様なため、支援の方法が大変難しく支援の質の向上が課題です。			通常の指導では十分な教育的効果が期待できない児童生徒が、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援が受けられます。		
部名	40 こども教育部		課名	30 家庭支援室	

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額	
事業費	事業費	千円	0	42,720	51,322	14,137	
	内訳	千円	報酬	0	37,835	41,226	285
			賃金	0	4,571	9,865	13,257
			報償費	0	60	60	60
			旅費	0	86	124	135
			需用費	0	42	47	98
			備品購入費	0	126	0	302
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
人件費等	千円	0	8,360	8,270	41,960		
正規職員	人・千円	0	1	7,160	1	7,160	
嘱託職員	人・千円	0	0.5	1,200	0.5	1,200	
臨時職員	人・千円	0	0	0	0	0	
総事業費	千円	0	51,080	59,592	56,097		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	1,996	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	5,200	0	0	
	一般財源	千円	0	43,884	59,592	56,097	
	合計	千円	0	51,080	59,592	56,097	

## 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

## 取組内容

- ・特別支援講師(嘱託職員)を13人配置しました。(前年度より1人増)
- ・支援介助員(臨時職員)を10人配置しました。(前年度より5人増)
- ・特別支援教育コーディネーター連絡会(3回開催)・特別支援教育研修会(2回開催・教職員206人)を開催しました。

## 成果

- ・特別な支援が必要な児童生徒の教育的ニーズに対応した支援の充実が図られました。

## 費用対効果

- ・個別支援に入ることにより、学級全体の運営が安定し学習環境の向上につながりました。

## 課題

- ・一人ひとりの教育的ニーズが多様なため、支援方法が大変難しく支援の質の向上が課題です。

## 4. 内部評価

指標		単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	小中学校への特別支援講師の配置人数	人	15	13
活動	特別支援講師の増員	人	1	1
成果	増員配置により特別な支援を受けられた児童生徒数	人	—	3
今後の方針	A	A 計画どおりに事業を進めることが適当		
		B 事業の進め方の改善の検討		
		C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		
		D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
	1	2	3	4	5	
公的関与	6	7	8	9		学校教育法等の一部を改正する法律に基づく事業
妥当性	1	2	3	4	5	
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						法に基づくものであるため、人的配置については財源補填を求めるべきと考える。

## 5. 教育委員会の評価・意見

- ・特別支援講師及び支援介助員が増員され支援の充実が図られている。引き続き状況に応じた充実を図りたい。



# 平成25年度事務事業評価(平成24年度実績)

## 総括表

### 主要事業数

課等名	主要事業数
社会教育課	4
スポーツ振興課	2
男女共同参画・人権課	3
平出博物館	2
計	11

生涯学習部

# 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

## 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	345 全国短歌フォーラム事業			
総合計画	第四次塩尻市総合計画			
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる			
節	04 かおり高い文化をはぐくむ			
項	01 市民の芸術文化活動を支援します			
事業期間	昭和62年度～	新規/継続	継続	
会計区分	一般	予算科目	1-100501-040000	
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位 0
地区	その他			
法令等条項				
全体事業概要		事業目的		
全国に「短歌のまち塩尻」として情報発信をするため、全国の愛好者から短歌を募り、最優秀・優秀賞等の選考、選評を行う全国短歌フォーラムを開催する。		市民のために、塩尻市の文化である短歌を伝統的言語文化として継承し、全国に発信するために全国短歌フォーラムを開催する。		
		事業内容		
		応募された短歌の、最優秀・優秀賞等の選考、選評を行う短歌フォーラムと塩尻の文化、産業などを紹介する特産物販売や「塩尻みてある記」を開催する。		
問題点・課題等		事業効果		
短歌愛好者の高齢化による参加者、投稿者の減少、新たな短歌愛好者の拡大のための対応策の検討		全国から、愛好者が集うことにより、「短歌のまち塩尻」を普及させるとともに、塩尻市の文化として、産業と併せ全国に発信することができる。		
部名	45 生涯学習部	課名	10 社会教育課	

## 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額	
事業費	内 訳	千円	0	15,923	20,340	17,394	
		千円		0	臨時職員賃金 681	臨時職員賃金 823	臨時職員賃金 1,074
				0	企画演出委託料 7,119	企画演出委託料 7,119	企画演出委託料 7,120
				0	全国短歌フォーラム事業負担金 8,123	全国短歌フォーラム事業負担金 8,666	全国短歌フォーラム事業負担金 9,200
				0	0	全国短歌フォーラム25回記念書籍データ作成委託料 234	0
				0	0	消耗品費（書籍購入代） 3,498	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
		人件費等	千円	0	4,511	4,454	4,511
正規職員	人千円	0	0	0.63	4,511		
嘱託職員	人千円	0	0	0	0		
臨時職員	人千円	0	0	0	0		
総事業費	千円	0	20,434	24,794	21,905		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	20,434	24,794	21,905	
	合計	千円	0	20,434	24,794	21,905	

## 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

## 取組内容

- ・全国短歌フォーラムin塩尻の一般の部を9月28・29日に、学生の部を12月1日にそれぞれ開催しました。
- ・一般の部が募集案内発送数5,225通、投稿数3,015首、学生の部が、募集案内発送数2,505通、10,891首の投稿がありました。
- ・一般の部では、2日目に「塩尻みてある記」を開催し、21名が参加しました。
- ・学生の部では短歌学習の取り組みを市内小学校2校、中学校1校が発表しました。
- ・短歌の普及等のため、地域の人材を活用し、市内外13校57学級で短歌づくり教室を実施しました。

## 成果

- ・塩尻市の文化である短歌を通じて、豊かな心をはぐくむ教育文化のまちづくりに貢献しました。
- ・大会をNHKEテレで1時間番組として全国放映することにより、短歌のまち塩尻を全国に発信しました。
- ・会場内での特産品販売や大会翌日塩尻みてある記を開催し、来場者に地域ブランドをPRしました。

## 課題

- ・短歌愛好者の高齢化に伴う、参加者、投稿者の減少に対して、新たな愛好家の拡大のための対応策の検討が課題です。

## 4. 内部評価

指標		単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	-	-	-	-
活動	一般の部発送数 学生の部発送数	通 通	- -	5,225 2,505
成果	一般の部投稿数 学生の部投稿数	首 首	(3,496) (10,545)	3,015 10,891
今後の方針	B	A 計画どおりに事業を進めることが適当 B 事業の進め方の改善の検討 C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
	1	2	3	4	5	
公的関与	1	2	3	4	5	市の独自文化の全国発信や教育面に活かすため
	6	7	8	9		
妥当性	1	2	3	4	5	参加者、投稿者の減少による見直しの時期か？
	6	7	8			
有効性	1	2	3	4		"
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		NHKにこだわらないやり方ができないか？
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		NHKにこだわらないやり方ができないか？
特記事項	全国大会を放映するのではなく、短歌の持つ力や魅力を発信することが出来ないか？					四半世紀の事業の実施により、短歌が市内にどのように浸透し、子どもたちへの影響はどうだったかの検証が必要である。

## 5. 教育委員会の評価・意見

- ・若手歌人の参加が新しい短歌の方向性をめざす動きにつながっている。
- ・中学生や高校生の参加については、無理の無い形で充実していきたい。教職員の研修など指導者研修にも力を入れてほしい。

## 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

### 1. 事務事業の概要

■ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	285 公民館事業諸経費				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	03 生涯にわたる生きがいをはぐくむ				
項	01 生涯学習を支援します				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100503-020000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項	社会教育法、地方自治法及び塩尻市公民館条例				
全体事業概要			事業目的		
市民の生涯学習の推進すると共に、地域の連携をさらに深めるために、公民館の運営と各種教室、講座、講演会等を行う。			市民のために、教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、地域の連携を深める。		
			事業内容		
			公民館の運営と各種教室、講座、講演会等を行う。		
問題点・課題等			事業効果		
趣味や教養の学級・講座だけでなく、生活課題や地域課題に向き合った学習の取り組み方法の検討 新しい時代にふさわしい公民館のあり方の検討			市民の生涯学習の推進と地域の連携を深めることができる。		
部名	45 生涯学習部		課名	10 社会教育課	

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額	
事業費	内訳	千円	0	26,918	25,771	42,178	
		千円		0	1,503	1,641	1,850
				0	14,677	14,676	14,676
				0	10,738	9,454	25,652
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
人件費等	千円	0	66,840	66,030	66,840		
正規職員	人千円	0	9	9	9		
嘱託職員	人千円	0	1	1	1		
臨時職員	人千円	0	0	0	0		
総事業費	千円	0	93,758	91,801	109,018		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	450	
	一般財源	千円	0	93,758	91,801	108,568	
	合計	千円	0	93,758	91,801	109,018	

## 3. 前年度中に実施した事業の取組み内容及び成果、課題

## 取組み内容

- ・定期的な館長主事会等により、各地区の情報交換や取組み等に対する意見交換も行いました。
- ・公民館研究集会の開催や新たに公民館としての地域防災の取組み等に関する意見交換も行いました。
- ・中央公民館講座は21講座延べ97回開催、1,557人が受講し、地区公民館では、257講座等延べ633回開催、14,878人が受講しました。中央公民館、地区公民館合わせて延べ16,435人が受講しました。

## 成果

- ・市民の教養の向上、健康の増進及び参加者相互の交流による地域の連携が図られ、市の生涯学習の推進に寄与することができました。
- ・地域課題の一つとして、公民館としての地域防災の取組み方についての検討ができました。

## 課題

- ・趣味や教養の学級等が中心の現在の取組みから、今後の公民館のあり方を含め生活課題や地域課題を向けた事業展開を検討、それを地域の連携強化、活性化にどのように繋げていくかが課題です。

## 4. 内部評価

指標		単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	中央・地区公民館、図書館等の学級講座等の年間参加者数	人	12,000	26,902
活動	中央・地区公民館学級・講座等開催回数	回	-	730
成果	中央・地区公民館学級・講座等参加者数	人	12,158	16,435
今後の方針	B	A 計画どおりに事業を進めることが適当 B 事業の進め方の改善の検討 C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
	1	2	3	4	5	
公的関与	1 6	2 7	3 8	4 9	5	社会教育法に基づく事業である。
妥当性	1 6	2 7	3 8	4	5	時代の変遷とともに、内容の見直しが必要である。
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						公民館活動に取り組む内容の見直し(地域課題等に目を向けた)への検討が必要である。

## 5. 教育委員会の評価・意見

- ・公民館施設の老朽化など、維持管理に課題がある。地域の防災拠点としての機能も求められており、考慮する必要がある。

## 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	195 重伝建整備事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	04 かおり高い文化をはぐくむ				
項	02 地域の歴史・文化をまもり活かします				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100512-030000		
事業区分	ハード	主管課順位	0	部順位	0
地区	2地区以上				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
国選定重要伝統的建造物群保存地区塩尻市奈良井及び木曾平沢地区における修理・修景事業の実施により、両地区の文化財的景観の向上を図る。 伝建防災計画に基づいた木曾平沢地区の防災施設整備を実施する。 平出地区を中心に、本棟造りの保存対策調査を行う。			伝建地区内に建造物等を所有する者のために、補助事業として文化財的景観整備の向上を図る。		
			事業内容		
			伝建地区内の建造物・工作物を、修理・修景という二つの手法により文化財として保存し景観整備を行う。		
問題点・課題等			事業効果		
人口減少などにより、空き家が増えることが懸念される。			景観整備だけに終わるのではなく、地域づくりの中核的なものとして認識され、更に観光振興等情報発信としても有効なものとなる。		
部名	45 生涯学習部		課名	10 社会教育課	

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額	
事業費	内 訳	千円	0	24,614	31,236	24,325	
		千円		0	0	設計監理委託料 5,460	0
				0	0	保存対策調査委託料 1,500	0
				0	200	伝建保存推進事業補助金 200	伝建保存推進事業補助金 200
				0	24,100	国宝重要文化財等保存整備事業補助金 23,807	国宝重要文化財等保存整備事業補助金 23,773
				0	314	その他 269	その他 352
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
	0	0	0	0			
人件費等	千円	0	5,370	5,303	3,580		
正規職員	人千円	0	0.75	5,370	0.75	5,303	
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	0	
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	
総事業費	千円	0	29,984	36,539	27,905		
財源	国庫支出金	千円	0	15,769	19,124	15,452	
	県支出金	千円	0	354	356	713	
	地方債	千円	0	0	1,900	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	13,861	15,159	11,740	
	合計	千円	0	29,984	36,539	27,905	

## 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良井・木曾平沢の両伝建地区において、修理・修景事業7件を実施しました。 奈良井地区では修理2件、修景1件、木曾平沢地区では修理3件、修景1件の文化財保存による景観整備を行いました。</li> <li>・木曾平沢伝建地区の防災施設の実施設設計が完了しました。</li> <li>・平出集落を中心とした本棟造りの建造物の保存対策調査に着手しました。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財としての保存にとどまらず地域づくりの核ともなり、更に観光振興にも寄与できました。奈良井・木曾平沢に続き、平出遺跡との相乗効果をあげる平出集落本棟造りの調査を開始することができました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木曾平沢の集客がまだ途上で、伝建としてのPRの研究が必要です。</li> <li>・平出集落について、今後の保存方法の方向性を住民の皆さんと協議を開始します。</li> </ul>

## 4. 内部評価

指標		単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	重要伝統的建造物群保存地区の延べ修理・修景実施数	件	42	31
活動	重要伝統的建造物群保存地区の延べ修理・修景実施数(年度内)	件	-	7
成果	重要伝統的建造物群保存地区の延べ修理・修景の進捗率(施策目標に対する達成率)	%	-	74
今後の方針	A	A 計画どおりに事業を進めることが適当		
		B 事業の進め方の改善の検討		
		C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		
		D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
	1	2	3	4	5	
公的関与	1	2	3	4	5	文化財保護法第143条の2、塩尻市伝統的建造物群保存地区保存条例
	6	7	8	9		
妥当性	1	2	3	4	5	
	6	7	8			
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						市の個性や伝統文化があり、海外からの視察もあることから、保存だけに止まらず活用・PRの仕方を検討

## 5. 教育委員会の評価・意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・着実な成果を積み重ねており、引き続き保存につとめ、地区間の連携による活用が期待される。平出の本棟造りについても、地域住民のみなさんとともに有効な保存策を見出していくことが望まれる。</li> </ul>
---

## 平成25年度 事業評価シート（平成24年度実績）

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	11 芸術文化事業費				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	04 かおり高い文化をはぐくむ				
項	01 市民の芸術文化活動を支援します				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100514-010000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
市芸術文化事業及び研修事業を開催する。 市民芸術文化活動者の支援、育成ための補助金の交付等を行う。			市民のために、芸術文化意識の向上と活動者の拡大、活性化を図る。		
			事業内容		
			市芸術文化事業及び芸術文化研修事業の開催、芸術文化事業補助金の交付を行う。		
問題点・課題等			事業効果		
市民芸術文化活動者の底辺拡大 塩尻市芸術文化振興協会の自主運営に向けての対応			市民の芸術文化意識の向上と芸術文化活動者の拡大、活性化が図られ、市芸術文化の振興に寄与できる。		
部名	45 生涯学習部		課名	10 社会教育課	

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額		平成23年度決算額		平成24年度決算額		平成25年度予算額		
事業費	内訳	千円	0		3,657		4,552		4,099		
		千円				臨時職員賃金		臨時職員賃金		臨時職員賃金	
				0		1,061		1,037		1,113	
						芸術文化事業委託料		芸術文化事業委託料		芸術文化事業委託料	
				0		2,400		2,400		2,400	
						その他		備品購入費		その他	
				0		196		759		586	
								その他			
				0		0		356		0	
				0		0		0		0	
	0		0		0		0				
人件費等	千円	0		11,814		11,666		11,814			
正規職員	人千円	0	0	1.65	11,814	1.65	11,666	1.65	11,814		
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0	0		
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0	0		
総事業費	千円	0		15,471		16,218		15,913			
財源	国庫支出金	千円	0		0		0		0		
	県支出金	千円	0		0		0		0		
	地方債	千円	0		0		0		0		
	その他	千円	0		0		0		0		
	一般財源	千円	0		15,471		16,218		15,913		
	合計	千円	0		15,471		16,218		15,913		

3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩尻市芸術文化事業6事業を開催しました。</li> <li>・芸術文化研修事業音楽は楽しいビート道場を小中高校生対象3回、一般対象1回、計4回開催しました。</li> <li>・小口益一版画作品の寄贈を受け、展示会を絵文等で4回、地区文化祭で3回、計7回開催しました。</li> <li>・市民の芸術文化活動を支援するため補助金を5件交付しました。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市芸術文化事業開催で、市民が芸術文化に触れることによる芸術文化意識の向上と事業参加による市民芸術文化活動者の活性化を図ることができました。</li> <li>・芸術文化研修事業には、小中高校生から一般まで幅広い年代層が参加、技術向上が図られと共に未来の活動者の育成につながりました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化等に伴い活動者が減少しています。底辺の拡大を図るため新たな活動者の発掘や支援・育成が課題です。</li> <li>・塩尻市芸術文化振興協会の自立を目指した自主運営に向けての対応が課題です。</li> </ul>

4. 内部評価

指標		単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	市主催芸術文化事業への来場者数	人	25,000	23,650
	市芸術文化振興協会加入数	人	4,100	3,770
活動	市主催芸術文化事業実施数	回	-	6
	市芸術文化事業補助金交付数	件	-	5
成果	市主催芸術文化事業への来場者数	人	25,000	23,650
	市芸術文化振興協会加入数	人	4,100	3,770
今後の方針	B	A 計画どおりに事業を進めることが適当 B 事業の進め方の改善の検討 C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
	1	2	3	4	5	
公的関与	1	2	3	4	5	市民の芸術文化意識の向上を図るため
	6	7	8	9		
妥当性	1	2	3	4	5	
	6	7	8			
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						塩尻市芸術文化振興協会も設立(H19)から5年経過するので、自立をさせる。市が臨時職員を雇用する必要はないのでは？

5. 教育委員会の評価・意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術文化活動の広がりに向けて、団体に属さない市民の成果発表の場についても拡大することが必要である。</li> </ul>
--

## 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	48 市民スポーツ振興事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	03 生涯にわたる生きがいをはぐくむ				
項	02 スポーツに親しめる環境と機会をつくりまします				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100601-060000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
「市民みな1スポーツ」を目指し、誰もが楽しめるスポーツイベントやスポーツ教室等を開催し、生涯スポーツの普及による市民の健康・体力づくりの推進と競技スポーツの振興を図る。			市民のために、スポーツの普及・振興による体力づくりと健康増進、競技スポーツの振興を図る。		
			事業内容		
			塩尻ぶどうの郷ロードレース、ヘルシー・フィジカル教室、ファミリースポレクフェスティバル等の事業を実施する。		
問題点・課題等			事業効果		
ファミリースポレクフェスティバル等の事業内容の見直しと市体育協会の自立をさらに促すことが重要である。			市民のスポーツに対する関心が高まり、健康体力づくりのための意識の向上や運動の習慣付けを図ることができる。		
部名	45 生涯学習部		課名	20 スポーツ振興課	

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額		
事業費	千円		0	23,117	22,459	23,030		
	内訳	千円		0	健康体力づくり推進事業講師謝礼 632	健康体力づくり推進事業講師謝礼 631	健康体力づくり推進事業講師謝礼 858	
				0	健康スポーツ都市宣言事業委託料 1,000	健康スポーツ都市宣言事業委託料 900	健康体力づくり推進事業委託料 866	
				0	健康体力づくり推進事業委託料 2,768	健康体力づくり推進事業委託料 2,764	スポーツ振興事業負担金 2,698	
				0	その他 18,717	その他 18,164	その他 18,608	
				0	0	0	0	
				0	0	0	0	
				0	0	0	0	
				0	0	0	0	
	人件費等	千円	0	17,448	16,501	18,140		
正規職員	人千円	0	2.4	17,184	2.3	16,261	2.5	17,900
嘱託職員	人千円	0	0.11	264	0.1	240	0.1	240
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円	0	40,565	38,960	41,170			
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	1,432	1,487	1,968		
	一般財源	千円	0	39,133	37,473	39,202		
	合計	千円	0	40,565	38,960	41,170		

### 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

<b>取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回塩尻ぶどうの郷ロードレース(10/14)を、定員を上回る2,036人のエントリーを受け、地元ボランティア約450人の協力により開催しました。</li> <li>・ヘルシー・フィジカル教室(5月～12月・昼コース27人、夜コース18人)を開催しました。</li> <li>・第24回ファミリースポレクフェスティバル(9/2)を約2,000人の参加により開催しました。</li> <li>・その他のスポーツ教室等を開催しました。</li> </ul>
<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぶどうの郷ロードレースでは、市民に対するランニングの普及と地元ボランティア等のスポーツイベントへの参加意識の向上が図られたほか、塩尻市の魅力を市内外へ発信できました。</li> <li>・ヘルシー・フィジカル教室では、教室前後の体力測定と血液検査の結果から、参加者がインターバル速歩の効果を実感し、ウォーキング習慣の定着が図られました。</li> <li>・ファミリースポレクフェスティバルでは、家族や友達でニュースポーツ等に親しむ中で、体を動かす楽しさを知り、スポーツをするきっかけを提供できました。</li> </ul>
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリースポレクフェスティバルがより多くの市民にスポーツに親しむきっかけを提供できるイベントとなるように、内容や実施時期を含めた改善が必要です。</li> </ul>

### 4. 内部評価

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	週1回以上スポーツ活動に親しむ成人の割合	%	50	35.4
活動	第4回塩尻ぶどうの郷ロードレースエントリー人数	人	2,000	2,036
成果	週1回以上スポーツ活動に親しむ成人の割合	%	40	35.4
今後の方針	B	A 計画どおりに事業を進めることが適当		
		B 事業の進め方の改善の検討		
		C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		
		D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
公的関与	1	2	3	4	5	
	6	7	8	9		
妥当性	1	2	3	4	5	
	6	7	8			
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						市民の健康面から見ると適度の運動と睡眠(休養)と栄養と言われているので、組織のあり方(スポーツ振興課と健康づくり課との見直し)も含め検討する。

### 5. 教育委員会の評価・意見

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の健康増進に向け、スポーツへの取り組みの機会をさらに広げるよう工夫していく必要がある。</li> </ul>
--	--

## 平成25年度 事業評価シート（平成24年度実績）

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	205 体育施設整備事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	03 生涯にわたる生きがいをはぐくむ				
項	02 スポーツに親しめる環境と機会をつくります				
事業期間	平成24年度～平成29年度	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100602-030000		
事業区分	ハード	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要		事業目的			
「市民みな1スポーツ」を推進できる環境を目指し、体育施設の充実を図るための整備を実施する。		市民のために、スポーツを親しめる環境づくりを目指し、体育施設整備の充実を図る。			
		事業内容			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽スポーツ施設の改修</li> <li>・新規スポーツ施設の整備</li> <li>・学校スポーツ施設の改修</li> </ul>			
問題点・課題等		事業効果			
多額の経費が必要になるので、計画的に進めていくことが重要となる。		施設整備を図ることにより、市民に快適なスポーツ環境の提供が可能となる。			
部名	45 生涯学習部	課名	20 スポーツ振興課		

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額			
事業費	千円		0	5,938	16,897	6,933			
	内訳	千円			新体育館関係費用	営繕修繕料	営繕修繕料		
			0	2,400	2,558	2,600			
					長者原公園関係費用	新体育館調査委託料	新体育館調査委託料		
			0	1,438	2,625	500			
					中央スポーツ公園整備工事	中央スポーツ公園整備工事	備品購入費		
			0	2,100	1,554	3,833			
					学校夜間照明整備工事	学校夜間照明整備工事			
			0	0	7,665	0			
			総合グラウンド整備工事	総合グラウンド整備工事					
0	0	1,271	0						
		その他工事	その他工事						
0	0	1,224	0						
0	0	0	0						
0	0	0	0						
人件費等	千円		0	1,790	2,121	6,444			
正規職員	人千円	0	0	0.25	1,790	0.3	2,121	0.9	6,444
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円		0	7,728	19,018	13,377			
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	6,800	0			
	その他	千円	0	0	0	2,982			
	一般財源	千円	0	7,728	12,218	10,395			
	合計	千円	0	7,728	19,018	13,377			

## 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

## 取組内容

- ・市民プールのプールサイドの部分補修、体育館のライン変更等の修繕を実施しました。
- ・新体育館の方向性を研究するための資料を作成しました。
- ・体育施設の雨水対策のため、2施設に浸透枡を新設したほか、塩尻東小学校のグラウンドの夜間照明設備を改修しました。

## 成果

- ・修繕・補修をした体育施設の機能が向上しました。特に、塩尻東小学校夜間照明は、平均80ルクスから180ルクスに照度が上がり、夜間利用者の利便性の向上につながりました。

## 課題

- ・施設の改修には多額の費用を要しますが、受益者負担はランニングコストの一部のみとなっており、コスト負担のあり方の検討が必要となります。

## 4. 内部評価

指標		単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	—	—	—	—
活動	学校グラウンド照明の改修学校数	校	—	1
成果	学校グラウンド照明の延べ改修学校数	校	—	10
今後の方針	A	A 計画どおりに事業を進めることが適当		
		B 事業の進め方の改善の検討		
		C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		
		D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
	1	2	3	4	5	
公的関与	1 6	2 7	3 8	4 9	5	地方教育行政法に基づく事業である。
妥当性	1 6	2 7	3 8	4	5	
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						体育施設整備については、ファシリティマネジメントでの整理が必要となる。

## 5. 教育委員会の評価・意見

- ・市民ニーズに応じて、スポーツ施設の適切な維持管理に努めていくことが必要である。

## 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	562 社会人権教育推進事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊な心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	01 人を大切にする心をはぐくむ				
項	01 人権意識を高め人権を守ります				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100104-020000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、塩尻市差別をなくし人権を擁護する条例				
全体事業概要			事業目的		
差別のない明るい社会をめざし人権教育を推進するため、地域での人権学習会、企業人権教育推進研修会等を開催する。			市民のために、人権意識の向上につとめ、差別のない明るい社会をめざす。		
			事業内容		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での人権学習会の開催</li> <li>・企業人権教育推進研修会の開催</li> <li>・人権同和教育集会所の管理運営</li> </ul>		
問題点・課題等			事業効果		
人権学習会の周知活動の強化、学社連携しての人権教育の推進			学習会等参加者の人権意識の向上が図られる。		
部名	45 生涯学習部	課名	30 男女共同参画・人権課		

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額			
事業費		千円	0	849	2,038	3,325			
内 訳	千円			人権教育講師謝礼	人権教育講師謝礼	人権教育講師謝礼			
		0	102	109	251				
				営繕修繕料	営繕修繕料	営繕修繕料			
		0	71	1,265	69				
				集会所管理委託料	集会所管理委託料	集会所管理委託料			
		0	266	266	266				
				人権教育ビデオ購入費	人権教育ビデオ購入費	人権教育ビデオ購入費			
		0	46	66	74				
				分館人権学習会・地区推進会議補助金	分館人権学習会・地区推進会議補助金	分館人権学習会・地区推進会議補助金			
		0	200	200	200				
		その他	その他	報酬(社会教育指導員、人権教育指導員、他)					
0	164	132	1,693						
				講演委託料					
0	0	0	313						
				その他					
0	0	0	459						
人件費等		千円	0	13,140	9,191	7,160			
正規職員	人千円	0	0	1.5	10,740	1.3	9,191	1	7,160
嘱託職員	人千円	0	0	1	2,400	0	0	0	0
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0	0
総事業費		千円	0	13,989	11,229	10,485			
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	600			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	13,989	11,229	9,885			
	合計	千円	0	13,989	11,229	10,485			

## 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	・地区公民館及び分館での人権学習会、企業人権教育推進研修会、人権同和教育集会所人権学習会を開催し、市民、事業者への人権意識の向上を図りました。
成果	・学習会等への参加者数は、1,940人で、地域、事業所における人権教育を推進することができました。
課題	・人権学習会の周知活動の強化、学社連携しての人権教育を推進する必要があります。

## 4. 内部評価

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	人権学習会等への年間参加者数	人	2,000	1,940
	「生まれや育ちにより差別されない地域社会が形成されている」と思う人の割合	%	75	63.3
活動	人権学習会等を開催した回数	回	—	48
成果	人権学習会等の参加者数	人	2,000	1,940
今後の方針	B	A 計画どおりに事業を進めることが適当		
		B 事業の進め方の改善の検討		
		C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		
		D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
	1	2	3	4	5	
公的関与	6	7	8	9		人権教育推進のため
妥当性	1	2	3	4	5	
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						人権教育という硬い名称では参加者が少ないため、他の事業との共同開催が求められる。なお、人権学習会がどのくらい理解されたかの検証も必要となる。

## 5. 教育委員会の評価・意見

・高度情報化社会のなかでの人権侵害など、時代の応じたテーマを取り上げて、人権学習会の内容充実を図っていくことが望まれる。
--

## 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	267 やさしく女と男推進事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	01 人を大切にする心をはぐくむ				
項	02 男女共同参画社会をつくりまします				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100508-030000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項	男女共同参画社会基本法、塩尻市男女共同参画基本条例				
全体事業概要			事業目的		
男女共同参画社会実現のため、市民を対象とした講演会、セミナー等を開催して意識啓発を図る。			市民のために、講演会、セミナー等を開催し、人材育成に努めるとともに、男女共同参画社会の重要性について意識啓発を図る。		
問題点・課題等			事業内容		
地域における男女共同参画推進を強化する必要がある。			男女共同参画推進交流会、市民との協働による女と男21世紀セミナー等を開催する。		
問題点・課題等			事業効果		
地域における男女共同参画推進を強化する必要がある。			市民において、男女共同参画推進に理解が深まるとともに意識啓発が図られる。		
部名	45 生涯学習部	課名	30 男女共同参画・人権課		

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額			
事業費	内 訳	千円	0	451	521	2,717			
		千円	手話通訳・保育士賃金	0	3	30	42		
			講師謝礼	0	133	178	259		
			費用弁償	0	120	89	106		
			その他	0	195	224	94		
			女性相談員報酬	0	0	0	1,327		
			男女共同参画推進事業補助金	0	0	0	185		
			国内研修参加補助金	0	0	0	53		
			その他	0	0	0	651		
			人件費等	千円	0	5,020	4,242	6,688	
正規職員	人千円	0	0	0.5	3,580	0.6	4,242	0.8	5,728
嘱託職員	人千円	0	0	0.6	1,440	0	0	0.4	960
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円	0	5,471	4,763	9,405				
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	5,471	4,763	9,405			
	合計	千円	0	5,471	4,763	9,405			

## 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画推進交流会を開催しました。</li> <li>・21世紀セミナーを開催しました。 男女共同参画推進ボランティア団体21ワーキンググループ創設10周年記念講演会を開催 男女共同参画推進地区井戸端会議を開催</li> <li>・やさしく女と男推進講座を開催しました。</li> <li>・地区男女共同参画推進会議を開催しました。</li> </ul>
成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進交流会、地区推進会議、21世紀セミナー等への参加者数は、548人で、市民において、男女共同参画社会の重要性に理解を深めるとともに意識啓発が図られました。</li> </ul>
課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における、男女共同参画推進を強化する必要があります。</li> </ul>

## 4. 内部評価

指標		単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	審議会・委員会への女性委員登用率	%	40	36
	男女共同参画社会研修会への年間参加者数	人	800	975
活動	推進交流会、21世紀セミナー等を開催した回数	回	—	5
成果	推進交流会、21世紀セミナー等の参加者数	人	400	548
今後の方針	A	A 計画どおりに事業を進めることが適当		
		B 事業の進め方の改善の検討		
		C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		
		D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
	1	2	3	4	5	
公的関与						男女共同参画社会基本法第9条(地方公共団体の責務)
妥当性	1	2	3	4	5	
	6	7	8	9		
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						行動計画の実施状況を検証し、男女共同参画意識が浸透しない理由を明確にするとともに、従来の事業の見直しをする。

## 5. 教育委員会の評価・意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流会や講座などに男性の参加が少ない。テーマを工夫するなど男性の参加を増やすことによる効果を期待したい。</li> </ul>
---

## 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	491 男女共同参画啓発事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	01 人を大切にする心をはぐくむ				
項	02 男女共同参画社会をつくりまします				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100508-040000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項	男女共同参画社会基本法、塩尻市男女共同参画基本法				
全体事業概要			事業目的		
男女共同参画社会実現のため、市民、事業者を対象とした地区学習会、企業セミナーを開催して意識啓発を図る。また、情報誌を発行し、情報発信を行うとともに、街頭啓発活動を実施する。			市民、事業者のために、男女共同参画社会の重要性について、理解が深まるよう啓発を図る。		
			事業内容		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区学習会、企業セミナーを開催</li> <li>・やさしく女と男情報誌「共に」を発行</li> <li>・街頭啓発活動</li> </ul>		
問題点・課題等			事業効果		
地域、事業者における男女共同参画推進を強化する必要がある。			市民、事業者において、男女共同参画推進に理解が深まるとともに意識啓発が図られる。		
部名	45 生涯学習部		課名	30 男女共同参画・人権課	

### 2. 年度別事業費

	単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額		
事業費	千円	0	1,803	895	1,065		
内 訳	千円		情報誌編集委員謝礼	情報誌編集委員賃金	情報誌編集委員賃金		
		0	134	121	134		
		0	手話通訳・託児保育士賃金	手話通訳・託児保育士賃金	印刷製本費		
		0	3	4	796		
		0	講師謝礼	講師謝礼	その他		
		0	114	35	135		
		0	印刷製本費	印刷製本費			
		0	1,382	677	0		
		0	その他	その他			
		0	170	58	0		
0	0	0	0				
0	0	0	0				
0	0	0	0				
人件費等	千円	0	2,034	2,121	2,152		
正規職員	人千円	0	0.15	1,074	0.2	1,432	
嘱託職員	人千円	0	0.4	960	0	0.3	720
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円	0	3,837	3,016	3,217		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	3,837	3,016	3,217	
	合計	千円	0	3,837	3,016	3,217	

## 3. 前年度中に実施した事業の取組み内容及び成果、課題

<p>取組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画推進地区学習会を開催しました。</li> <li>・男女共同参画企業セミナーを開催しました。</li> <li>・男女共同参画週間街頭啓発活動を実施しました。</li> <li>・男女共同参画情報誌「共に」を発行しました。</li> </ul> <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区学習会、企業セミナーへの参加者数は、427人で、市民、事業者において、男女共同参画社会の重要性に理解を深めるとともに意識啓発が図られました。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域、事業者における男女共同参画推進を強化する必要があります。</li> </ul>
--

## 4. 内部評価

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	審議会・委員会への女性委員登用率	%	40	36
	男女共同参画社会研修会への年間参加者数	人	800	975
活動	地区学習会、企業セミナーを開催した回数	回	—	7
成果	地区学習会、企業セミナーの参加者数	人	400	427
今後の方針	A	A 計画どおりに事業を進めることが適当		
		B 事業の進め方の改善の検討		
		C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		
		D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
	1	2	3	4	5	
公的関与	1	2	3	4	5	男女共同参画社会基本法第9条(地方公共団体の責務)
	6	7	8	9		
妥当性	1	2	3	4	5	
	6	7	8			
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						意識啓発の浸透度合の判断基準をどうするか？

## 5. 教育委員会の評価・意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や企業の協力を強化することにより、事業の進展を期待する。</li> </ul>
---



## 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座、講演会として平出歴史大学(2回)、土曜サロン(5回)、歴史講座(1回)を開催しました。</li> <li>・ミュージアムコンサート(1回)、企画展(2回)を開催しました。</li> <li>・遺跡まつりを開催しました。</li> <li>・金環日食、金星の太陽面通過など天体観察会を開催しました。</li> <li>・博物館紀要、博物館ノートを刊行しました。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座、講演会では383人が、企画展には1,673人の入場者がありました。また遺跡まつりには例年以上の2,500人の来場者があり盛況でした。天体観察会を開催し新たな客層の開拓を行いました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示のほかに、講座、講演会、企画展などの事業を実施していますが、事業内容を検討し、新たな参加者やリピーターをいかに増やすかが課題です。</li> </ul>

## 4. 内部評価

指標		単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	博物館施設の入場者数	人	69,000	61,408
活動	講座・講演会の開催回数	回	—	8
成果	講座・講演会の参加者数	人	350	383
	平出博物館の入館者数	人	5,200	6,551
今後の方針	B	A 計画どおりに事業を進めることが適当		
		B 事業の進め方の改善の検討		
		C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		
		D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
	1	2	3	4	5	
公的関与	6	7	8	9		博物館法、塩尻市立博物館条例に基づく事業である。
妥当性	1	2	3	4	5	
	6	7	8			
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						リピーター増加策として、遺跡公園との連携を図ることが求められる。

## 5. 教育委員会の評価・意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の博物館施設との連携による企画展の充実が図られており、成果が期待できる。</li> <li>・平出遺跡公園とあわせた活用はもとより、将来的には、平出の本棟造り集落の価値付けと活用との連携も期待したい。</li> </ul>
---

## 平成25年度 事業評価シート（平成24年度実績）

### 1. 事務事業の概要

■ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	7027 史跡平出遺跡指定地公有化整備事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	04 かおり高い文化をはぐくむ				
項	02 地域の歴史・文化をまもり活かします				
事業期間	平成9年度～平成23年度	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	0-xxxxxx-xx0000		
事業区分	ハード	主管課順位	0	部順位	0
地区	宗賀				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
国史跡である平出遺跡を保護活用するため、史跡を公有化するとともに、史跡整備を行い歴史や文化に触れることのできる拠点施設として整備する。			市民のために、かけがえのない文化遺産である平出遺跡を保護するとともに、歴史や文化の拠点施設として活用されるよう整備を図る。		
			事業内容		
			平出遺跡環境整備報告書の刊行 史跡公園整備完成竣工式の開催		
問題点・課題等			事業効果		
史跡整備が完了し、活用面でいかに周辺地域等との連携を図るか検討していく必要がある。また史跡公園内の維持管理の手法も考えていかななくてはならない。			史跡平出遺跡を保護し、市民にとって平出遺跡公園が教育文化区域の中核施設として活用される。		
部名	45 生涯学習部		課名	40 平出博物館	

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額			
事業費	千円		0	71,815	3,768	0			
	内訳	千円		0	1,176	1,155	0		
				0	70,331	2,184	0		
				0	308	429	0		
				0	0	0	0		
				0	0	0	0		
				0	0	0	0		
				0	0	0	0		
				0	0	0	0		
				0	0	0	0		
人件費等	千円		0	7,160	2,121	0			
正規職員	人千円	0	0	1	7,160	0.3	2,121	0	0
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円		0	78,975	5,889	0			
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	78,975	5,889	0			
	合計	千円	0	78,975	5,889	0			

3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

<p><b>取組内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡公園整備完成竣工式を開催しました。</li> <li>・史跡平出遺跡環境整備報告書を刊行しました。</li> </ul> <p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡の公有化から整備事業までの成果をまとめた環境整備報告書を刊行することができ、史跡整備について認識を深め、情報を共有化することができる書籍として今後活用が期待されます。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平出遺跡公園が完成し活用元年を迎えましたが、周辺地域等との連携をはかるなど、今後の遺跡公園の有効活用の在り方を検討する必要があります。</li> </ul>
---

4. 内部評価

指標		単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	博物館施設の入場者数	人	69,000	61,408
活動	ひらいで遺跡まつりの来場者数	人	2,000	2,500
成果	平出遺跡公園への延べ来場者数	人	12,800	18,552
今後の方針	B	A 計画どおりに事業を進めることが適当 B 事業の進め方の改善の検討 C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
	1	2	3	4	5	
公的関与	6	7	8	9		国庫補助事業のため
妥当性	1	2	3	4	5	
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項	遺跡公園活用方法としては、①保護②市民の利用③ワークショップ、ボランティアの提言、アンケートの声の反映→歴史学習として宗賀公民館戸の連携、農業面では、トウモロコシのもぎ取り、観光面では、そば切り物語、教育施設の面としては、学習ガイドブック、学習の場としての活用					遺跡公園が完成したことから、博物館と連携した利用策を検討する。事業としては、平成24年度で完了

5. 教育委員会の評価・意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・平出遺跡公園整備事業の完了を受け、有効活用に向けて積極的な取組みを期待する。</li> </ul>
---



# 平成25年度事務事業評価(平成24年度実績)

## 総 括 表

### 主要事業数

課等名	主要事業数
交流支援課	3
図書館	1
子育て支援センター	2
計	6

### 市民交流センター

## 平成25年度 事業評価シート（平成24年度実績）

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	7035 市民交流センター管理諸経費				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	06 自立と自治の市民社会をともに作る				
節	01 市民の主体的な活動をひろげる				
項	04 市民交流センターを活用した交流と人づくりの場を提供します				
事業期間	平成22年度～	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	0-xxxxxx-xx0000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	その他				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
市民交流センターの利便性向上に向け、十分な機能確保のために施設の適切な維持管理を行う。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の安全、安心のための施設維持管理業務の委託</li> <li>・ 館内適正温度保持の空調等工事</li> </ul>		
			事業内容		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設全体の警備、清掃、駐車場整理業務に係る維持管理の実施</li> <li>・ 施設設備に係る防音、空調工事等の実施</li> </ul>		
問題点・課題等			事業効果		
利便性の向上と経費抑制のバランス			市民交流センターの利便性の向上と機能の確保		
部名	35 市民交流センター		課名	15 交流支援課	

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額	
事業費	千円		0	99,567	119,102	110,490	
	内訳	千円		0	施設管理委託料 35,595	施設管理委託料 37,812	施設管理委託料 35,700
				0	駐車場使用料 8,026	駐車場使用料 8,318	駐車場使用料 9,000
				0	施設管理分担金 52,454	施設管理分担金 53,768	施設管理分担金 59,979
				0	その他 3,492	施設等工事費 14,664	その他 5,811
				0	0	その他 4,540	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
人件費等	千円	0	15,022	14,856	12,516		
正規職員	人千円	0	1.85 13,246	1.85 13,080	1.5 10,740		
嘱託職員	人千円	0	0.74 1,776	0.74 1,776	0.74 1,776		
臨時職員	人千円	0	0	0	0		
総事業費	千円	0	114,589	133,958	123,006		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	111,083	105,287	
	一般財源	千円	0	114,589	22,875	17,719	
	合計	千円	0	114,589	133,958	123,006	

## 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

## 取組内容

- ・施設管理業務委託(清掃・警備・空調機器保守点検等)を行いました。
- ・空調・防音工事を実施しました。

## 成果

- ・警備等の施設管理を委託することにより、来館者の安全が確保されました。
- ・空調等の工事により施設内の整備がより充実し、来館者に快適な場の提供が可能となりました。

## 課題

- ・利便性の向上と経費抑制のバランスをどうしていくのか検討が必要です。

## 4. 内部評価

指標		単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	えんぱーく利用者人数(重複)	人	400,000	638,763
活動	施設維持管理業務の委託	件	—	2
成果	—	—	—	—
今後の方針	A	A 計画どおりに事業を進めることが適当		
		B 事業の進め方の改善の検討		
		C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		
		D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
	1	2	3	4	5	
公的関与	1	2	3	4	5	公設市民営が軌道に乗るまでは、行政の関与が必要である。
	6	7	8	9		
妥当性	1	2	3	4	5	
	6	7	8			
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						利用時間の見直し検討をする。

## 5. 教育委員会の評価・意見

- ・市民交流センターについては、開設以降継続して利用状況が順調で、目標を大きく超える成果があげられており評価できる。

## 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	5526 市民交流センター交流企画事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	06 自立と自治の市民社会をともに作る				
節	01 市民の主体的な活動をひろげる				
項	04 市民交流センターを活用した交流と人づくりの場を提供します				
事業期間	平成22年度～	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-020116-030000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	その他				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
市民交流センターの基本方針「機能融合を目指した事業運営」を実現するため、また、多くの利用者の来館を目指して、諸機能が有機的に連携した幅広い事業展開を行う。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書による人づくりと交流</li> <li>・各種講座、講演会の開催による知識、技能の修得</li> <li>・来館者人数の増加</li> </ul>		
			事業内容		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ養成講座、交流会の開催</li> <li>・各種講座、講演会の開催</li> <li>・記念イベント事業の開催</li> </ul>		
問題点・課題等			事業効果		
新たな利活用及び利用者の増加に向けた事業展開			<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT講座、各種講座等の開催：43事業に対して参加者27,400人</li> <li>・年間来館者638,763人</li> </ul>		
部名	35 市民交流センター		課名	15 交流支援課	

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額		
事業費		千円	0	144,609	35,953	38,479		
内 訳	千円		0	5,933	5,565	5,000		
		IT講座運営委託料		2,182	2,473	2,044		
		講師謝礼		878	1,125	2,800		
		費用弁償		353	181	1,555		
		普通旅費		3,985	4,000	3,810		
		消耗品		131,278	8,085	8,400		
		その他		0	4,627	5,453		
		臨時職員賃金		0	9,897	9,417		
		その他		0	25,578	25,295	20,300	
		人件費等	千円	0	25,578	25,295	20,300	
正規職員	人千円	0	3.15	22,554	3.15	22,271	2.5	17,900
嘱託職員	人千円	0	1.26	3,024	1.26	3,024	1	2,400
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円	0	170,187	61,248	58,779			
財源	国庫支出金	千円	0	0	1,000	400		
	県支出金	千円	0	0	520	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	341	1,148		
	一般財源	千円	0	170,187	59,387	57,231		
	合計	千円	0	170,187	61,248	58,779		

## 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本コンセプトである重点分野における、IT講座、各種講座及び講演会等を開催しました。</li> <li>・木育フェスティバル等、他団体との連携事業を開催しました。</li> <li>・読書による人づくり事業、交流支援事業を開催しました。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸機能が有機的に連携した幅広い事業展開を実施したことで、多くの来館者がありました。</li> <li>・他団体との連携した事業展開が可能となりました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな利活用及び利用者の増加に向けた、事業展開が必要となっています。</li> </ul>

## 4. 内部評価

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	えんぱーく利用者人数	人	400,000	638,763
	IT講座年間受講者人数	人	2,000	4,226
活動	講座等の開催	事業	-	43
成果	年間講座受講者人数	人	-	27,400
今後の方針	A	A 計画どおりに事業を進めることが適当		
		B 事業の進め方の改善の検討		
		C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		
		D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
公的関与	1	2	3	4	5	交流センターのコンセプトである機能融合を目指すため
	6	7	8	9		
妥当性	1	2	3	4	5	
	6	7	8			
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						いろんな分野が有機的に連携する方法を検討する。

## 5. 教育委員会の評価・意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・各講座への参加者の状況が順調であり、市民ニーズに応じた多様な企画内容が展開されており評価できる。</li> </ul>
---

## 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	398 協働のまちづくり推進事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	06 自立と自治の市民社会をともにつくる				
節	01 市民の主体的な活動をひろげる				
項	03 市民公益活動を促進します				
事業期間	平成15年度～	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-020116-040000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
地方分権時代に対応した市民の自律した自治を目指す主体的な市民活動を支援し、多様な主体が協働して「これからの公益」を築く仕組みを創造する。 知恵の交流を通じた人づくりの場を基本コンセプトとした市民交流センターの運営管理方針に掲げる「協働による運営」を推進する。			・主体的な市民活動団体等の育成 ・市民サポート組織「えんぱーくらぶ」の育成と協働による運営の推進		
			事業内容		
			・市民活動団体等への補助金交付と活動支援 ・市民サポート組織「えんぱーくらぶ」の活動支援		
問題点・課題等			事業効果		
・協働のまちづくり事業の質の向上 ・中間支援機能（インターメディアリー）の充実			・市民の主体性、自主性の向上 ・市民活動団体等の活性化 ・市民交流センター事業の多様化		
部名	35 市民交流センター		課名	15 交流支援課	

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額	
事業費	千円		0	5,420	6,060	6,665	
	内訳	千円			市民活動支援業務委託料	市民活動支援業務委託料	市民活動支援業務委託料
			0	1,395	1,365	1,365	
			0	協働のまちづくり提案公募事業補助金	協働のまちづくり提案公募事業補助金	協働のまちづくり提案事業補助金	
			0	1,400	1,748	3,000	
			0	市民交流センター提案公募事業補助金	市民交流センター提案公募事業補助金	えんぱーくらぶ協働推進事業負担金	
			0	1,174	1,385	1,254	
			0	その他	その他	その他	
			0	1,451	1,562	1,046	
			0	0	0	0	
0	0	0	0				
0	0	0	0				
0	0	0	0				
0	0	0	0				
人件費等	千円	0	24,384	23,610	23,880		
正規職員	人千円	0	3	21,480	3	21,480	
嘱託職員	人千円	0	1.21	2,904	1	2,400	
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	
総事業費	千円	0	29,804	29,670	30,545		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	2,000	2,000	3,000	
	一般財源	千円	0	27,804	27,670	27,545	
	合計	千円	0	29,804	29,670	30,545	

## 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

<b>取組内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働に関する職員研修会を一般市民に公開開催しました。</li> <li>・補助金交付団体の公開選考会、事業報告会を開催しました。</li> <li>・協働オフィス使用者の意見交換会を開催しました。</li> </ul> <b>成果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会等の開催により、協働意識の醸成がされました。</li> <li>・市内NPO法人登録団体が増加しました。</li> <li>・市民交流センター提案公募事業補助金の交付により、市民交流センター利用の促進がされました。</li> </ul> <b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案公募事業の新規制度の利用促進手法の検討が必要です。</li> <li>・中間支援機能の充実が必要です。</li> </ul>
--

## 4. 内部評価

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	提案公募事業の年間提案件数	件	15	17
	サポート活動に関する満足度	%	70	87
活動	市民公益活動に関する研修会等の開催	回	-	3
成果	補助金交付団体実数	件	-	16
	市内NPO法人登録団体数	団体	-	28
今後の方針	A	A 計画どおりに事業を進めることが適当		
		B 事業の進め方の改善の検討		
		C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		
		D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
公的関与	1	2	3	4	5	多様な主体が自立するまでの間は行政主導
	6	7	8	9		
妥当性	1	2	3	4	5	
	6	7	8			
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						中間支援機能を充実するための方法を検討する。 例えば、市民交流センターの利用方法(ある種の特権を与える方法)

## 5. 教育委員会の評価・意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働の考え方の浸透が見られる。公募事業の成果が上がるよう、支援を継続していく必要がある。</li> </ul>
---

## 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	370 図書館事業諸経費				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	03 生涯にわたる生きがいをはぐくむ				
項	01 生涯学習を支援します				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	未設定	予算科目	1-100504-030000		
事業区分	ソフト	主管課順位	1	部順位	0
地区	全市				
法令等条項	図書館法				
全体事業概要			事業目的		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児から高齢者までのあらゆる市民を対象に本の読み聞かせや各種行事を通して読書の普及を図る。</li> <li>・ 児童図書や一般図書等の充実を図り、市民の課題解決や読書への関心を高める。</li> <li>・ 資料の充実に努め市民ニーズに応じていく。</li> <li>・ 本館、分館の図書館機能の充実、整備を図る。</li> </ul>			あらゆる市民や企業、団体等の課題解決を支援できる図書館づくりを進める。		
			事業内容		
			様々な課題解決等に必要な資料の収集、保存、活用を進めるとともに、資料の活用や関心を高める企画事業を行なう。		
問題点・課題等			事業効果		
広範な利用者ニーズに応じていくための環境の整備			市民の読書環境を充実させ、レファレンス等の図書館機能強化による市民や地域の支援を行なう。		
部名	35 市民交流センター		課名	40 図書館	

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額		
事業費	内訳	千円	0	86,656	90,518	65,328		
		千円		0	30,876	30,892	53,042	
			図書購入費	0	7,998	10,977	3,513	
			消耗品費	0	30,531	31,212	1,562	
			臨時職員賃金	0	8,279	8,279	7,211	
			電算機器使用料	0	8,972	9,158	0	
			その他	0	0	0	0	
				0	0	0	0	
				0	0	0	0	
				0	0	0	0	
人件費等	千円	0	72,780	58,475	20,340			
正規職員	人千円	0	4.5	32,220	2.5	17,675	1.5	10,740
嘱託職員	人千円	0	16.9	40,560	17	40,800	4	9,600
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円	0	159,436	148,993	85,668			
財源	国庫支出金	千円	0	8,090	600	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	121	0	65		
	一般財源	千円	0	151,225	148,393	85,603		
	合計	千円	0	159,436	148,993	85,668		

### 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

<b>取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館資料の計画的購入及び収集をしました。 15,283冊購入</li> <li>・「信州しおじり本の寺子屋」を開校しました。 講座・講演会:1,121人参加</li> <li>・調査・相談・照会業務を強化しました。 7,952件対応</li> <li>・読書活動グループ等の育成及び連携を図りました。</li> </ul>
<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のニーズに出来る限り応えられる資料提供と、課題解決型の図書館づくりが進められました。</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">個人貸出冊数:679,841冊</p>
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を支援し地域に役立つ図書館づくりの一層の推進が必要です。</li> <li>・図書館のブランド化と全国発信が課題です。</li> </ul>

### 4. 内部評価

指標		単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	図書館の来館者数	人	200,000	443,760
	図書館でのレファレンス件数	件	500	1,478
活動	イベント開催回数	回	200	295
成果	個人貸出冊数	冊	426,000	679,841
今後の方針	A	A 計画どおりに事業を進めることが適当 B 事業の進め方の改善の検討 C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
	1	2	3	4	5	
公的関与	1	2	3	4	5	図書館法、社会教育法第5条第4号・9号、塩尻市図書館条例・塩尻市図書館管理規則に基づく事業
	6	7	8	9		
妥当性	1	2	3	4	5	
	6	7	8			
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項	市民に役立つ図書館づくりは始まったばかりであり、行革評価項目の対象はないが、個々に精査し見直しを進める。					

### 5. 教育委員会の評価・意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館利用者数の実績は大いに評価できる。「信州しおじり本の寺子屋」事業も魅力的な内容で評価できる。</li> </ul>
--

## 平成25年度 事業評価シート（平成24年度実績）

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	9 子育て支援センター事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	02 安心して暮らせる福祉のまちをともに作る				
節	02 安心して生み育てられる環境をつくる				
項	01 出産・子育ての不安と負担を減らします				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-030202-040000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	その他				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
○人づくりの場として支援センター事業の拡充 ・子育て支援講演会の開催と支援講座の充実			子どもの健全な育ちと保護者の育児不安の軽減、地域の子育て力の育成を支援する。		
○協働して取り組む子育て支援の推進			事業内容		
			遊び環境の整備と交流や学びの機会の開催、及び子育てに関する情報の提供。		
問題点・課題等			事業効果		
・北部子育て支援センターの老朽化に伴う施設の補修等修繕費の増加			子どもの発育年齢に合わせた遊び環境の整備や子育て講座の開催等により、保護者同士の交流が広がり、育児不安の軽減を図ることができた。		
部名	35 市民交流センター		課名	30 子育て支援センター	

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額		
事業費	内訳	千円	0	6,645	6,151	10,296		
		千円	臨時賃金	0	2,627	2,073	4,382	
			講師謝礼	0	428	361	412	
			消耗品費	0	737	731	603	
			保育費	0	523	471	489	
			郵便料	0	397	386	118	
			印刷製本費	0	325	226	1,840	
			その他	0	1,608	1,903	2,452	
				0	0	0	0	
			人件費等	千円	0	53,880	57,337	46,648
正規職員	人千円	0	5.4	38,664	5.9	41,713	4.4	31,504
嘱託職員	人千円	0	6.34	15,216	6.51	15,624	6.31	15,144
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円	0	60,525	63,488	56,944			
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	10,296		
	県支出金	千円	0	105	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	0	60,420	63,488	46,648		
	合計	千円	0	60,525	63,488	56,944		

### 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレイルームの環境管理及び子育て相談を実施しました。</li> <li>・子育て講座を開催しました。 子育てに困り感のある保護者を対象に「ママたちのおしゃべりサロン」を新設（4回 56人）</li> <li>・子育て情報を提供しました。</li> <li>・ファミリーサポート事業を実施しました。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズの変化に対応しながら事業内容の工夫を行い、多くの保護者が利用しました。 プレイルーム利用者 26,326人（子育て相談 1,266件） 講座や交流会の開催 235回 参加者 9,956人 情報提供 あったか通信（一人につき7回発送 3,621回）支援センターだより「ぼかぼか」毎月発行</li> </ul>
課題	<p>＜北部子育て支援センター＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化が進み、安心安全な遊び場所を確保するために施設整備（建て替え）が必要。吉田児童館分館の移転建設状況を考慮しながら計画を進めていきます。</li> <li>・特に昨夏は猛暑の影響により利用が減少気味であったことや乳幼児の体調管理上、早期にエアコンの導入が必要です。</li> </ul>

### 4. 内部評価

指標		単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	子育てサポーター認定者数	人	150	88
活動	子育てサポーター及びボランティア養成講座の開催(9回) ファミリーサポートの登録数(依頼会員・提供会員)	人 人	－ －	206 452
成果	ファミリーサポート事業利用件数	件	－	435
今後の方針	A	A 計画どおりに事業を進めることが適当 B 事業の進め方の改善の検討 C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
	1	2	3	4	5	
公的関与	6	7	8	9		厚生労働省通達に基づく施設であり、実施主体は市
妥当性	1	2	3	4	5	
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項	(検討資料)子育て支援センター利用年齢のこどもの全人口に占める割合は、他市と比較してどうなのか					

### 5. 教育委員会の評価・意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て講座や交流会等が子育て中の保護者への適切な情報提供に加え、仲間づくりや交流の機会ともなっており評価できる。</li> </ul>
---

## 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	46 こども広場事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	02 安心して暮らせる福祉のまちをともに作る				
節	02 安心して生み育てられる環境をつくる				
項	01 出産・子育ての不安と負担を減らします				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-030202-070000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	その他				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
○こども広場の施設の安定利用を図る。 ・体験型親子遊び環境の充実 ・木に触れ木を使って楽しむ木育事業の推進 ○安心・安全な施設としての維持管理を行なう。			未就学児童とその保護者が、様々な遊び体験を共に楽しむことで、子育て負担感を軽減する。		
			事業内容		
			利用者向けの交流会の実施や木育フェスティバルの開催。		
問題点・課題等			事業効果		
こども広場の安定利用を図る。			こども広場の利便性の向上と機能の充実により、安定的利用を図る。		
部名	35 市民交流センター		課名	30 子育て支援センター	

### 2. 年度別事業費

	単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額
事業費	千円	0	40,104	38,955	40,121
内 訳	千円		臨時職員賃金	臨時職員賃金 臨時職員社会保険料	臨時職員賃金 臨時職員社会保険料
		0	4,330	4,464	3,810
			消耗品費	消耗品費	消耗品費
		0	740	461	465
			印刷製本費	印刷製本費	印刷製本費
		0	422	250	347
			駐車場使用料	駐車場使用料	駐車場使用料
		0	1,200	1,200	1,200
			備品購入費	施設管理負担金	施設管理負担金
0	4,472	31,540	33,080		
	施設管理負担金	その他	その他		
0	28,425	1,040	1,219		
	その他				
0	515	0	0		
0	0	0	0		
人件費等	千円	0	12,624	8,592	12,000
正規職員	人千円	0	0.6	0	0
嘱託職員	人千円	0	3.47	3.58	5
臨時職員	人千円	0	0	0	0
総事業費	千円	0	52,728	47,547	52,121
財源	国庫支出金	千円	0	0	0
	県支出金	千円	0	4,527	0
	地方債	千円	0	0	0
	その他	千円	0	784	0
	一般財源	千円	0	47,417	47,547
	合計	千円	0	52,728	47,547

### 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

<b>取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未就学児童とその保護者が安心して遊べる施設として、遊具の点検や維持管理を行いました。</li> <li>・イベントや交流会を開催しました。</li> <li>・木育を推進しました。</li> </ul>
<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具の充実やイベントの開催等により、市内外からの多くの親子の利用に繋げることができました。</li> <li>・年間利用者数 59,209人 (市内 32,013人 市外 27,196人)</li> <li>・交流会やイベントの開催 79回</li> <li>・木育フェスティバル「グッドトイキャラバン」の開催(3日間) 参加者数 3,190人</li> </ul>
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援施設として、利用者の子育て相談にも応じられる体制づくりが必要です。</li> </ul>

### 4. 内部評価

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	—	—	—	—
活動	—	—	—	—
成果	こども広場の利用者数	人	55,000	59,209
今後の方針	A	A 計画どおりに事業を進めることが適当		
		B 事業の進め方の改善の検討		
		C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		
		D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
公的関与	1	2	3	4	5	将来的には、行政の手を離れることが必要である。
	6	7	8	9		
妥当性	1	2	3	4	5	サービスを見直す余地がある。
	6	7	8			
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		他の実施主体の活用も可能か検討する。
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						行政から他の実施主体に移行することも検討する。

### 5. 教育委員会の評価・意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の充実が図られ、イベントや交流会の開催により施設の価値が上がり、有効に活用されている。</li> </ul>
--

## 平成25年度 事業評価シート (平成24年度実績)

### 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	46 こども広場事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	02 安心して暮らせる福祉のまちをともに作る				
節	02 安心して生み育てられる環境をつくる				
項	01 出産・子育ての不安と負担を減らします				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-030202-070000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	その他				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
○こども広場の施設の安定利用を図る。 ・体験型親子遊び環境の充実 ・木に触れ木を使って楽しむ木育事業の推進 ○安心・安全な施設としての維持管理を行なう。			未就学児童とその保護者が、様々な遊び体験を共に楽しむことで、子育て負担感を軽減する。		
			事業内容		
			利用者向けの交流会の実施や木育フェスティバルの開催。		
問題点・課題等			事業効果		
こども広場の安定利用を図る。			こども広場の利便性の向上と機能の充実により、安定的利用を図る。		
部名	35 市民交流センター		課名	30 子育て支援センター	

### 2. 年度別事業費

		単位	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度予算額
事業費		千円	0	40,104	38,955	40,121
内 訳	千円		0	4,330	4,464	3,810
		臨時職員賃金				
		消耗品費	0	740	461	465
		印刷製本費	0	422	250	347
		駐車場使用料	0	1,200	1,200	1,200
		備品購入費	0	4,472	31,540	33,080
		施設管理負担金	0	28,425	1,040	1,219
		その他	0	515	0	0
			0	0	0	0
人件費等	千円	0	12,624	8,592	12,000	
正規職員	人千円	0	0.6	0	0	
嘱託職員	人千円	0	3.47	3.58	5	
臨時職員	人千円	0	0	0	0	
総事業費	千円	0	52,728	47,547	52,121	
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	4,527	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	784	0	1,133
	一般財源	千円	0	47,417	47,547	50,988
	合計	千円	0	52,728	47,547	52,121

### 3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

<b>取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未就学児童とその保護者が安心して遊べる施設として、遊具の点検や維持管理を行いました。</li> <li>・イベントや交流会を開催しました。</li> <li>・木育を推進しました。</li> </ul>
<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具の充実やイベントの開催等により、市内外からの多くの親子の利用に繋げることができました。</li> <li>・年間利用者数 59,209人 (市内 32,013人 市外 27,196人)</li> <li>・交流会やイベントの開催 79回</li> <li>・木育フェスティバル「グッドトイキャラバン」の開催(3日間) 参加者数 3,190人</li> </ul>
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援施設として、利用者の子育て相談にも応じられる体制づくりが必要です。</li> </ul>

### 4. 内部評価

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	—	—	—	—
活動	—	—	—	—
成果	こども広場の利用者数	人	55,000	59,209
今後の方針	A	A 計画どおりに事業を進めることが適当		
		B 事業の進め方の改善の検討		
		C 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		
		D 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		

	担当課等					専門委員
公的関与	1	2	3	4	5	将来的には、行政の手を離れることが必要である。
	6	7	8	9		
妥当性	1	2	3	4	5	サービスを見直す余地がある。
	6	7	8			
有効性	1	2	3	4		
効率性 (実施主体)	1	2	3	4		他の実施主体の活用も可能か検討する。
効率性 (経済性・手法)	1	2	3	4		
特記事項						行政から他の実施主体に移行することも検討する。

### 5. 教育委員会の評価・意見

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の充実が図られ、イベントや交流会の開催により施設の価値が上がり、有効に活用されている。</li> </ul>
--	--



---

---

**平成25年度（平成24年度実績）  
教育委員会自己点検・評価報告書**

平成25年11月

塩尻市教育委員会  
(塩尻市こども教育部教育総務課)

長野県塩尻市大門七番町4番3号  
電話 (0263) 52-0280 (代)  
HP アドレス <http://www.city.shiojiri.nagano.jp/>

---